

アセンション BOOK42 闇

の創造主からの解放 5

2019年 4月

闇の創造主からの解放

5

闇夜が明ける時



闇夜が開ける時 目次

- 第1章 緊急事態の発生
- 第2章 パラレルワールドに捕らわれた私
- 第3章 監査の創造主
- 第4章 予期せぬ破局
- 第5章 紫ピラミッドに盗まれた技術
- 第6章 創造主達のルール
- 第7章 第30評議会の闇の創造主の結末
- 第8章 狼騎士団の遺伝子を持つハンター
- 第9章 スターピープルの故郷に対する同時攻撃
- 第10章 「紫ピラミッド」の解体
- 第11章 監査の創造主からのメッセージ
- 付録 各評議会の創造主&光の世界の区分

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック

<https://www.k-suai.com/sp/index.html>

宇宙の光公式HP

<http://hikari1.com/sp/index.html>

アセンション評議会

<http://s-sun1.com/sp/index.html>

アメブロ光の世界へ

<http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI

yume34@k-suai.com

イラスト

えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 緊急事態の発生

PART1 新たなる侵略者

私達の宇宙から「多彩な機能を持つ創造主」が去って数日後、2018年の12月10日頃の事です、私達はこれで全ての事から解放され、ようやく私達のアセンションを再開する事ができると考えていました。

しかしながらここ1日2日程、恵理さんに対するサイキックなエネルギーの干渉がとても強くなり、恵理さんの咳や頭痛が止まらなくなり、体調が大きく崩れてきました。そして、私自身も疲れやすく手の痛みが激しくなるなど、優れない体調である事を感じていました。

そこに第1評議会のスターピープル達が、私に報告があると言ってきました。

「TAKESHIさん、実は光40%台の世界に今まで見た事もない新たなダークピープル達が入り始めています。

「紫ピラミッド」との間に作ったゲートを使って、私達の宇宙に入り込んできているようですが、とても厄介な力を持ったダークピープル達のようなので、すぐに対処した方が良いのではないかと思います報告に来ました。」

私はいったい何が起きているのか心配になり第26評議会の創造主に、何か変わった事がないか、確かめてみました。

すると第26評議会の創造主はとても心配そうな顔をしてあわただしく動いています。私は、第26評議会の創造主に一体何が起きたのか尋ねました。

「TAKESHI さん、大変な事が起きてしまいました。

「多彩な機能を持つ創造主」が、私が閉じ込めておいた宇宙から姿を消してしまったのです。

おそらく彼と共に働いている創造主達が、「多彩な機能を持つ創造主」を助けだしたと思われる。

彼は、これから何をしでかすか分かりませんので、創造主評議会の皆さんに手伝ってもらって、彼を探しているのです。」

私はその言葉に愕然としてしまいました。

おそらく彼は、一つの宇宙に閉じ込められた事を不満に思っ、また私達の宇宙に復讐に来るかもしれません。

もしかしたら、新しく侵入してきたダークピープル達も「多彩な機能を持つ創造主」が関わっているかもしれません。

私は、第 26 評議会の創造主に、「紫ピラミッド」のゲートを通して新たなダークピープルが侵入してきたことを伝えました。

すると第 26 評議会の創造主は困惑した顔をして言いました。

「TAKESHI さん、そのダークピープル達の動きを少しでも早く止めてください。

私達も、何が起きているのかすぐに調べて対処したいと思います。」

と言って消えていきました。

きっと、創造主評議会の皆さんと対策を考えている事でしょう。

私達はすぐに各評議会の創造主とスターピープルを呼び出して、そのダークピープル達の事を調べてもらうようお願いしました。

第 1 第 2 評議会のスターピープルと創造主達が、すぐにその現場に戻りダークピープル達の様子を調べて戻ってきました。

「TAKESHI さん、これは確かに今まで私達の宇宙にはいなかったダークピープル達です。

そして早くも「紫ピラミッド」のダークピープル達を取り込み、彼らと一体化して自分達の支配下に置いているようです。

彼らは人間というよりも、ダークピープル達と一体化して、そのダークピープル達を通して人間に関わり、地球の物理世界に対して大きな影響を与える可能性があります。

「紫ピラミッド」のダークピープル達は、今まで以上の大きな力を持ったこの存在達を歓迎し、自ら好んでこのダークピープル達と一体化しようとしています。」

私はこの事をすぐに第 26 評議会の創造主と「愛で統一された宇宙」の創造主に報告しました。

「愛で統一された宇宙」の創造主とそのスターピープル達がこのダークピープル達の事をすぐに調べに入りました。

そして私達にこのように報告してくれました。

「このダークピープルは、いつも「多彩な機能を持つ創造主」と手を組んで動いている創造主達の宇宙から送り込まれたダークピープルのようです。

おそらく「多彩な機能を持つ創造主」とこの宇宙の創造主は、皆さんの地球に対して何らかの干渉を始めた可能性があります。

これはすぐに処理をしないと皆さんの宇宙は大きな被害を受ける事は間違いないと思

われますので、私達「愛で統一された宇宙」のスターピープル達はすぐに皆さんの宇宙に入り、このダークピープル達が広がらないように守りを固めたいと思います。」

「「愛で統一された宇宙」のスターピープル達よ、ありがとうございます。」

と私は言いました。

そして「愛で統一された宇宙」の創造主に向かって、私は尋ねました。

「「愛で統一された宇宙」の創造主よ「多彩な機能を持つ創造主」と手を組んでいる創造主というのはどのような創造主なのか教えてください。」

「愛で統一された宇宙」の創造主は困ったような顔をしています。

「いくつもの宇宙が彼らによって侵略され大きな被害を受けています。

彼らはとても悪賢くていつも光の創造主達の裏をかき、その宇宙をいつのまにか占領してしまいます。

そして光の創造主達を傷つけたり追い出したりしてしまうのです。

私達、創造主評議会でも、この創造主にたいしては常に警戒を行なっています。

おそらく「多彩な機能を持つ創造主」を第26評議会の創造主が閉じ込めた空間から助け出したのも彼らである事に間違いありません。

「多彩な機能を持つ創造主」も彼らと一緒に行動するうちに、以前とは比べ物にならないぐらい悪賢い創造主になってしまったのです。」

「愛で統一された宇宙」の創造主の話聞いて、私達は地球と私達の宇宙が大変困った状

況に置かれている事に大きなため息をついてしまいました。

私は「愛で統一された宇宙」の創造主に、この創造主達は一体どのような名前と呼ばれているのか聞きました。

「皆さんの宇宙の言葉にするのはとても難しいのですが、テロリストや海賊というようなイメージが皆さんの中にはあると思います。

まさにそのような侵略者的な創造主です。」私はこの創造主達に対して「宇宙を侵略する創造主」という名前をつける事にしました。

「多彩な機能を持つ創造主」よりもさらに力を持った創造主達が、私達の宇宙に関わってきた事で、創造主達は大きな不安を覚えているようです。

私達の宇宙の創造主は、まだ生み出されたばかりで、創造主としての経験が浅く予期せぬ出来事が起きた時にしっかりと対応ができるか、自信がないようです。

その様子を見て「愛で統一された宇宙」の創造主が、私達に向かって言いました。

「この宇宙の創造主が関わってきたとすれば、光40%台はすぐに手を打たなければ壊滅的な状態になります。

まず私達のスターピープル達が「紫ピラミッド」の周りを固め、このダークピープル達が「紫ピラミッド」から出ないように守りを固めたいと思います。

そして光40%台の創造主やスターピープルの様子をすぐに調べなければなりません。」

私は光40%台の創造主のリーダーである「闇の創造主を統治する創造主」を呼び出しました。

そしてこの状況を話してすぐに光40%台の創造主を調べる事にしました。

この光40%台の創造主達も光50%代の創造主と同じように第26評議会の創造主によって作り変えが行われたばかりなのです。

しかし光40%台の創造主達の多くがもうすでに「宇宙を侵略する創造主」によってコントロールを受けているようです。

この「宇宙を侵略する創造主」は「多彩な機能を持つ創造主」が使っていたゲートを用いて、ダークピープル達を私達の宇宙に送り込むと同時に、光40%台の創造主に対しても既にコントロールを始めています。

特に物理世界に近い創造主達はすでにこの創造主達に取り込まれたようです。

「愛で統一された宇宙」の創造主は「クリエイティブな愛の宇宙」の創造主達と協力して、私達の宇宙を守るために、彼らの宇宙から物理世界に強い創造主とスターピープル達を私達の宇宙に派遣してくれました。

そして私達に向かってこのように言いました。

「TAKESHIさん、皆さんの宇宙の創造主達は、「宇宙を侵略する創造主」達にしてみれば、とても力が弱い創造主達です。

すぐに避難させなければ大変な事になります。

そしてまたスターピープル達もこの宇宙のダークピープル達と接する事によって、彼らもコントロールを受けダークピープルになってしまう可能性もありますので、スターピ

ーブル達もどこか安全な場所に引き上げて
ください。

光 40%台の創造主達は、物理世界に近い創造主から上位の創造主まで程度の差はあれもうすでに影響を受けています。

そして光 50%以上の世界の創造主に関しても、上位の創造主がもうすでに影響を受けてしまって正常な判断を持ってない状況になっているようです。」

すぐに、私達の宇宙の全ての創造主達が私達の宇宙から撤退しました。

私達の光 40%台の宇宙と光 50%台の宇宙には私達の宇宙の創造主はいなくなってしまったのです。

そして「愛で統一された宇宙」の創造主や「クリエイティブな愛の宇宙」の創造主、「愛ですべてを守護する宇宙」の創造主達が私達の宇宙に入り、この「宇宙を侵略する創造主」達が行ってきた計画を明らかにし処理するために働く事になりました。

第2章 パラレルワールドに 捕らわれた私達

PART1 天照大御神の一斉アチューメント に仕掛けられた罠

このような中でも、「神聖なる宇宙の光」のアチューメントは続けられましたが、今までよりもさらに強力なサイキックアタックが私達に向けられるようになってきました。

それは「宇宙を侵略する創造主」達のダークピープルと一体化したダークピープル達が、「神聖なる宇宙の光」のアチューメントを受けの人達が、光が多い世界へアセンションする事を妨げるために行っているのです。

しかし「愛で統一された宇宙」のスターピープル達も、ダークピープル達が私に関わってきた時を利用して、彼等の動きを調べているようです。

私達のアチューメントを通して、スターピープル達とダークピープル達の探り合いが盛んにおこなわれているようです。

私達は、ダークピープルに捕らわれた人々を助け出すために、光40%台の世界に深くは行っていきますので、私達の波動と光40%台の世界の波動がかみ合わずに、私達だけでなく子供達にも体調不良が起こり始めています。

しばらくして「愛で統一された宇宙」のスターピープル達が報告にきました。

「TAKESHIさん、調べたところ光40%台前半の世界では「紫ピラミッド」のダークピ

ープル達は「宇宙を侵略する創造主」達のダークピープルに取り込まれてしまいましたので、「紫ピラミッド」ごと、皆さんの光50%台と繋がる世界から分離しました。

ただし物理世界では、「宇宙を侵略する創造主」達のダークピープルとのつながりは、まだ残っていますので気を付けてください。そして「宇宙を侵略する創造主」達も遠隔で、皆さんの宇宙の創造主やダークピープル達をコントロールしようとしていますので引き続き警戒を行ってください。」

そのような状況で私達は、いったい誰が私達を守護してくれているのか気になります。その事をスターピープル達に尋ねました。

「TAKESHIさん達が今いる世界は、光40%台の中ごろです。

スターピープル達は、現在光50%台に行く予定の人達の多くが、光40%台に捕らわれたままになっているので、その理由をしらべ、その人達を助け出す作業をしています。

そのために TAKESHIさん達に光40%台中盤の世界に来てもらっているのですが、この世界は「愛で統一された宇宙」のスターピープル達の多くが入れない世界です。

そのために、唯一入れるスターピープル達を通して「愛で統一された宇宙」のスターピープル達や創造主が様子を見ています。

皆さんの宇宙では、地球の物理世界と深く密着した天照大御神のグループだけが唯一この世界で活躍できますので、TAKESHIさん達の守護は天照大御神のグループが行っています。」

そこに天照大御神があらわれました。

「私達の宇宙のスターピープル達は光50%台の世界にほとんどが避難していますので、私達を通して、光40%台の世界の様子を見えています。

そして、「愛で統一された宇宙」のスターピープル達と協力して、光40%台の世界で活躍する天照が TAKESHI さん達の守護を行っています。」

昨年から、「紫ピラミッド」のダークピープル達のサイキックアタックは非常に物理世界に近いレベルで行われてきますので、通常のスーパースターピープル達では防ぎきれなくなっています。

そのために、日本人の多くと繋がり、地球の物理世界との関りが深い天照大御神のグループが私達の守護を担当する事になっているのです。

私達は、天照大御神とのつながりを深めるために、天照大御神を現実世界で祀っている新田神社にお参りに行きました。

そして、年始に「天照大御神の一斉アチューメント」を行い天照大御神の力を現実世界でも高める計画を立てました。

天照大御神が、アチューメントを受けてくれた人々としっかりと繋がる事で、その人だけでなくその人と関わる多くの人達を光の世界へ導いていく事ができるようになるからです。

PART2 闇の創造主に操られていた天照大御神

2018年の12月も後半になると、私達は天照大御神の一斉アチューメントの準備を

しながら、闇の多い世界に捕われてしまった人達のために「神聖なる宇宙の光」のアチューメントを行いました。

そして2018年を終え2019年を迎える境目の時に、私達は天照大御神の一斉アチューメントを行ったのです。

一斉アチューメントの参加者は200名を超えていましたので、多くの人達が天照大御神の守護を受ける事で闇の多い世界から少しでも抜け出す事ができるように願っていました。

しかしながら一斉アチューメントが行われた日から私達の体はとても大きな痛みや疲労を感じるようになりました。

何か私達の生命力がどんどん吸われていくように感じられます。

仕事をしていても気持ちが散漫になり集中できません。

体もだるく疲れやすくなっています。

そして、夜寝る時も何か気持ちの悪いエネルギーに生気を吸い取られているような感じでした。

私は天照大御神を呼び出して尋ねました。

「一体何が起きたのですか？

あなたのアチューメントを行う事によって、多くの人達が天照の光を得て、あなたによって守護されるのではないのですか。

私達が感じている体調不良やおかしなエネルギーは、あなたのアチューメントと関係があるのですか。」

天照大御神が訪ね答えました。

「私達は多くの人をアセンションさせるために、光40%台の中盤にいる人達が光を求

めているので、そのような人達を救うために皆さんに光を送っています。

しかし、TAKESHIさんの波長とこの世界の波長が合わないので TAKESHIさん達が体調を壊しやすくなっているのだと思われます。」

私はその言葉に、天照大御神が何かを隠しているのではないかと思い、スターピープル達に現在の私達がどのような状況になっているか調べてもらいました。

スターピープルは調べが終わると私のもとに来て報告をしてくれました。

「TAKESHIさん、皆さんの状況を調べた所、皆さんのもとにたくさんのゲートが開かれ、光を求めている人達が次々と押し寄せ、皆さんの光を奪っている様子が見えてきました。そのために、TAKESHIさんだけでなく、ご家族の皆さんが生命力を奪われ体調不良を起こしているようです。

そのゲートは天照大御神の一斉アチューメントによって様々な人に対して開かれたゲートのようです。」

「そのゲートを開いたのは誰ですか、調べてください。」と私は言いました。

「このゲートを開いたのは天照大御神です。」私は、一瞬めまいがしました。

「天照大御神よ、これはいったいどういう事ですか、このアチューメントは、あなたの光を多くの人に与え、人々を守護するためのアチューメントであるはずなのに、どうして私のもとにゲートを開くのですか。」

天照大御神は無表情で答えました。

「私達は、1人でも多くの人々がアセンションするために、創造主のスピリットを持つあなたの光を多くの人達に分け与えて行くのが最も効率的だと考えています。

そのために TAKESHI さんのもとに多くの人達へつながるゲートを開きました。」

私達は今までいくつもの一斉アチューメント行ってきましたが、このような事は初めてです。

私はもしかしたらこの光40%台の天照大御神が、闇の創造主によって騙されているのではないかと思いました。

そして常に私達が活動を共にしている光50%台の天照大御神を呼び出しました。

「天照大御神よ、私が天照大御神の一斉アチューメントを行った後に、私達の光が奪われ、家族全員の生命力までも弱り果ててしまう事態になっています。

光40%台の天照が言うには創造主だから多くの光を求めている人達に、自らの光を分かち合わなければならないというのですが、これでは私達の体が持ちません。

光40%台の天照に何が起きているのかすぐに調べてください。」

その言葉を聞いて光50%台の天照大御神の顔が青ざめているようです。

天照大御神はすぐに光40%台の天照大御神を調べて私達のところに戻ってきました。

「TAKESHI さん本当に申し訳ありません。この光40%台の天照大御神は私の分身ではありますが、私よりも闇が多いために闇の創造主の支配をいつの間にか受けていたようです。

天照大御神のアチューメントと言いながら、TAKESHIさん達のエネルギーを光40%台の人達が奪い取るような仕組みを作ってしまったようです。

このままでは TAKESHI さん達が非常に弱ってしまい、アセンションの活動どころか自分達の仕事さえもできなくなってしまいます。

私はすぐにこの天照大御神の一斉アチューメントで開けられたゲートを閉じて、光40%台中頃の人達がTAKESHIさん達の光を奪い取る事ができないように処置しますのでお許してください。

そして光40%台の天照大御神は私の責任で処理させていただきます。」

「分かりました。天照大御神よ、すぐにその処置を行ってください

しかし私は一斉アチューメントとして多くの人達に、天照大御神の「魂を輝かせる光」を与える約束をしたのです。

このままでは、私は皆さんに嘘を言った事になります。

光50%台の天照大御神の「魂を輝かせる光」を、一斉アチューメントを受けてくださった人達に送る事はできませんか。

そうしなければ私は、これからアチューメントができなくなってしまいます。」

「分かりました。

その事もすぐ対処致します。

光50%台の天照の光を、TAKESHIさんを通じて、アチューメントを受け取る事を希望している人達に送る事ができるかどうか、創造主や他のスターピープル達とも相談して、

この件に関してもすぐに処置をしますのでしばらくお待ちください。」

そして天照大御神とその一族は私達の前から去っていきました。

そしてその翌日 1 月 3 日に、再び天照大御神が戻ってきました。

「TAKESHI さん、何とか創造主達にお願いして光 50% 台の天照大御神の「魂を輝かせる光」のエネルギーを光の度合いを下げる調整を行った状態で光 40% 台の皆さんにお渡しする事ができるようになりました。

もちろん光 50% 台の世界にいる人達は、直接天照の光を受け取る事ができるのですが、いま地球の人達はほとんどが光 40% 台中頃の世界にいます。

本来は光 50% 台に入ってきてても良い人達がまだ光 40% 台中頃にとらわれてしまい、私の本当の光を受け取る事ができない状態なのです。

しかしながらこのままでは天照大御神の光を受け取ったとしても、皆さんから何ら変わりようがないと思われてしまいます。

それでは一斉アチューメントを行った TAKESHI さんの面目をつぶす事になりますので、私達の光を調整して新たなアチューメントとして皆さんに送らせていただきます。」

「そうですか、それではそのようにしてください。

アチューメントの祈りの言葉は変更する必要がありますか。」と私は尋ねました。

「祈りの言葉は、できれば光 50% 台の天照に合わせた言葉に変えていただければ幸いです

その新しい祈りの言葉を読まれた人に対して、私達は光50%台の天照の光を降ろしていく事になるかと思えます。」

私はその言葉を聞いて、私は天照大御神の一斉アチューメントを、新しい祈りの言葉に作り変えて再度行う事にしました
そして1月4日、新しい祈りの言葉をブログに掲載し、天照大御神の一斉アチューメントを再度やり直す事になったのです。

そうする事で、天照大御神の光を本当に必要と思われる方は、光50%台の質の高い天照大御神の光を受け取る事ができるようになりました。

そして私達もこの天照大御神のアチューメントを通して自分達の生命力を奪われ自分達の体調がおかしくなる事もなくなってくるのではないかと思われます。

PART3 パラレルワールドからの救出

しかしながら光40%台の天照が作ったゲートを閉じたにも関わらず、その後もあまり状態は改善しません。

これはどうも新しく入り込んできた「宇宙を侵略する創造主」達が放ったダークピープル等の影響によるものだと思われます。

彼らは「紫ピラミッド」のダークピープルと一つになる事によって、今までよりもさらに強力にアセンションを妨害してきます。

そして私達の周りに様々なゲートを開き、私達の家族のエネルギーを奪うだけでなく子供達にネガティブなビジョンを見せて恐怖

や孤独感を味あわせ、精神的なダメージを与えてきます。

私達はその事に耐える事ができずに創造主達に対して、私達をこの光 40%の中盤の世界ではなく、もっと光の多い世界、光 49%から50%の世界に戻してくれとお願いしました。

アセンションしていく人達に対してもっと安全な場所からサポートする事ができなければ、私達の家族の安全は保障できないからです。

しかし光 40%台を現在統治している「愛で統一された宇宙」の創造主達にはそのような権限があまりないようで、私達の願いが受け入れられる事はありませんでした。

また今まで私達と共に活動していた創造主やスターピープル達もほとんどが「宇宙を侵略する創造主」達の影響の及ばないところに避難しているので、私達とも自由にコンタクトが取れない状態になっています。

私達は今まで共にアセンションのために働いてきた仲間達から取り残されているような気がして毎日をととても暗鬱とした気持ちで送っていたのです。

そしてダークピープル達によるサイキックアタックもさらに激しくなり 恵理さんも体調を崩してあまり動く事が出来なくなってしまうました。

そのような時、数人のスターピープル達が私達の前に現れました。

そして私達を見つけるととても喜んだような表情をしてこのように言いました。

「TAKESHI さん、ここはあなた方がいる世界ではありません。

私達はあなた方が急に私達の前から消え去ってしまったので、一体何が起きたのかと思い探していました。

そうするとどうやら TAKESHI さん達家族が他のパラレルワールドに瞬時に移されてしまったという事が分ったのです。

私達スターピープルや創造主も一生懸命あなたの事を探しました。

おそらく「宇宙を侵略する創造主」と「多彩な機能を持つ創造主」達の力によって、あなた方が気づかないうちに全く別の世界に移されてしまい本来の世界から隔絶されたようです。

天照大御神の連絡により、私達はようやく TAKESHI さん達を見つけ出す事ができました。」

私達はその言葉に大変驚いてしまいました。しかしながらそう言われてみれば納得ができます。

光40%台の天照大御神が私達に対してとても大きな罨を仕掛けてきた事、そして「宇宙を侵略する創造主」によって送られたダークピープル達が、必要なまでに私達を攻撃して私達の光を奪い取っていた事など、今までに考える事もできないほど大きなサイキックアタックに見舞われていたのは、私達が本来いる場所ではなくもっと次元の低い闇の多い世界に落とされていたからだという事がわかりました。

「TAKESHI さん、すぐに戻りましょう。そうしなければ、「宇宙を侵略する創造主」達に見つかってしまい、2度とこの世界から出られなくなってしまうです。」

スターピープル達に案内されて、私達は彼らが来たゲートから元の世界に戻りました。しかしながらこの世界に長くいたために、私達の波動は著しく落ちています。私達の光も完全ではなく、その回復に時間がかかるようです。

私達が本来存在すべき世界に戻ってきた後、私達はまず光40%台中盤の世界へ入る事になりました。

この世界もやはり「宇宙を侵略する創造主」と彼によって連れてこられたダークピープル達の影響を受けて、多くの人達が闇の多い世界に捕らわれています。

私達は、スターピープル達と共に、アチューメントや様々なスピリチュアルな作業をしながらこの世界に閉じ込められている人達を助け出し、共に光の多い世界に上がっていかねばなりません。

1 月も後半になると私達の体調もだいぶ良くなってきました。

私達はようやく光 46%から 47%台の世界へと戻ってきたようです

この世界では「宇宙を侵略する創造主」のダークピープル達は大きな影響力を持っていないようです。

この世界では「愛で統一された宇宙」や「クリエイティブな愛の宇宙」の創造主やスターピープル達が「宇宙を侵略する創造主」のダークピープル達の働きをだいぶ抑えているようです。

第3章 すべてを明らかにする 監査の創造主

PART1 すべてを明らかにする創造主

2019年の2月になって、私達は毎日のように地球の人々を闇の多い世界から救い出すためにアチューメントなどを通してスターピープルや創造主達と共に活動しています。

そして「紫ピラミッド」のダークピープル達が、地球の人々がアセンションして行く事を妨げている仕組みや罫をいくつも明らかにする事ができました。

私達の知らない場所にまだ多くの地球人の「愛のスピリット」が捕えられていました。それはヒーリングなどに関わっている人達だけでなく、地球人の多くの人達の「愛のスピリット」が捕えられていたのです。

そのために地球人は愛を見失い物欲に支配されるような存在になってしまったのです。

私達は多くのスターピープルや大天使と協力してそのスピリットを解放しましたが、地球人の心には愛の光を拒むような闇のハートが入れられており、「愛のスピリット」を解放し、その人のスピリットと統合しようとしてもなかなかできないのです。

あるいは動物でありながらも神となった存在を使って私達の活動や生活にたいして、スターピープルに分からないように妨害活動を行っていました。

彼らは、神様のふりをして日本人の多くをだまし、そのスピリットを奪い続けています。

また闇の精霊等を利用して多くのシャーマンや神官の働きをする人々のスピリットを抑圧している事も明らかになってきました。

そしてそのような事を調べていくうちに、今まで会った事もない創造主が私達を使ってこの宇宙を調べているという事がわかりました。

それは私達が光47%台の世界に入ってからしばらくたつのに、光48%から49%台の世界に入れられないのはなぜかとスターピープルに尋ねた時の事でした。

「TAKESHIさん、私達や私達の宇宙の創造主には TAKESHIさんがいる場所を決定する権限がないのです。

普通の地球人であれば私達と創造主によってその人達がどの世界に所属するのか判断する事もできますし、その方の光の具合によってより高い光の世界へと連れて行く事もできます。

しかしながら私達が TAKESHIさんに対してそれを行おうとしてもできないという事がわかったのです。

今までも TAKESHIさんに対して守護を行おうとしている時もうまくできなかった時がたくさんありました。

私達だけでなく創造主もその事を不思議に思っていました、どうやら TAKESHIさんに関しては、私達に権限があるのではなく別の創造主が TAKESHIさんの行動に関して権限を持っているという事が分かったのです。」

とエレナさんが答えてくれました。

私はエレナさんの言っている意味が良く理解できずに、すこし混乱していました。

確かに今までも、光の創造主やスターピープル、大天使達が私達の事を守護しようとしてもできなかった事もたくさんありましたし、反対に彼らの守護を大きく超えた出来事が起こる事もありました。

私はいったい、だれが私達の事をコントロールしているのか、私達に対して権限を持っている創造主がいるならばそれはどのような創造主だろうと考え、その創造主を呼び出す事にしました。

「私達に対して大きな権限を持っている創造主よ、その様な創造主がいるのならば、どうか私達の前に出てきてください。」と私と恵理は祈りました。

そうすると一人の創造主が私達の前に現れてきました。

私はその創造主に向かって尋ねました。

「あなたは一体どのような存在なのですか。もし創造主であるならば、どのような立場にいる創造主なのか教えてください。」

すると、私達の前に現れた創造主は答えてくれました。

「私は皆さんの宇宙を適切な状態に戻すために調べている創造主です。

皆さんの宇宙の創造主とは異なる立場にいる創造主ですので、皆さんの宇宙の創造者達には私達の姿は見えない場合もあります。

しかしながら、私は TAKESHI さんを通じて皆さんの宇宙で何が起きているのか、「宇宙を侵略する創造主」や「多彩な機能を持つ創造主」達がどのような事を行い、どのような結果になったのかを詳しく調べています。

そして彼らが行った事を適切に処理するために皆さんの宇宙に深く関わっています。そしてそれらの事を実現するために、TAKESHIさんの現実世界の意識や肉体をお借りしています。」

「私は、私達の宇宙の創造主達と共に、多くの闇に落ちた創造主の行いを調べてきましたが、それもあなたが行ってきた事なのですか。

それらの事を全て調べるために私達を利用してきたのですか。」

「そのようにお考えになられても結構です。」その創造主は平然と答えました。

「あなたはどのような名前と呼ばれていらっしゃるのですか。」と私は訪ねました

「地球の言葉で言うならば「監査の創造主」あるいは「全てを明らかにする創造主」という事になるのでしょうか。」

「あなたは私達を使ってどのような事をし

ていらっしゃるのですかもっと詳しく教えてください。」

「私達は皆さんの宇宙の創造主達が行っている事を詳しく調べているのです。

光の創造主も闇の創造主も分け隔てなく、その創造主がこの宇宙で何を行ってきたのか調べています。」

「そのために私達を利用しているという事なのですね。」

「現実世界をくまなく見るためには TAKESHIさん達の存在が必要なのです
あえて言うならばあなたのスピリットこそが監査の創造主の一部であり、あなたのスピリット自身がこの地球を調べる事を目的としてあなたの体に宿っているのです。」

そのために私達はあなたの肉体を使ってこの物理世界を調べています。」

「という事は様々な世界に行った時に私達が体調不良を起しているのは、そのせいですか。」

監査の創造主は困った顔をして答えました
「そうかもしれません。

肉体を持っているあなた方が、この宇宙の様々なネガティブな現象を調べるという事に対して全く影響を受けないという事はないと思います。

しかし、その事を行わなければアセンションを行う事ができません。」

「それが、私のスピリットが望んでいる事だから仕方がないという事をおっしゃっているわけですね。」

「はいそうです。
あなただけでなく、あなたの家族すべてがその事に同意して、この地球の物理世界に降りてきているために、あえてそのような事を行う事になっているのです。」

私は自分のスピリットが決めてきた事とはいえ、それに対する防御ができていない事は無責任ではないかと常日頃から考えています。

「しかしながら非常に波動の低い世界を調べるにあたって、私達の家とそのゲートが開き、私達の子供が泣き叫び、恐怖や不安におびえている姿を見ると、私はこのままでは自分達の子供がおかしくなってしまうのではないだろうか、精神的なトラウマを受けてしまい成長に問題がでるのではないかと心配しています。

あなたはその事をお考えになった事がありますか。」

監査の創造主は、私の考えを諭すような口調で答えます。

「確かにあなたの言う事も正しいと思います。

しかしながら私達はどこまで行えば子供に問題が起きるのか、成長が阻害されるのかという事も理解しています。

そしてその範囲の中で行っているので子供達に問題が出る事はないと考えています。」

私は内心怒りを覚えました。

「創造主よ、創造主はいつもそのような事を言うのですが、私達の体はいつも大変な負担を受けています。

私も救急車で運ばれ生死の境をさまよった事もありますし、また美輝が生まれる時も結貴が生まれる時も恵理さんに対して大きなサイキックアタックが与えられ、彼女は大変大きな苦痛と負担を受けました。

確かに創造主が言うとおおり、私達は死ぬ事はありませんでしたし、美輝も結貴も現在の所、問題なく成長していますが、私達は大変な思いでそれに耐えてきました。

創造主よ、あなた方は物理世界で行われている事に対して、全て理解しているわけではありません。

この物理世界で行われるサイキックアタックや罠に対して皆さんの防御というのはあまり役に立っていないと思います。」

監査の創造主は、きっと私の事を、駄々をこねる子供のように思っている事でしょう。

「確かに私達は物理世界の全てを見渡せるわけではありません。

また「紫ピラミッド」や「多彩な機能を持つ創造主」達がどのような罫を仕掛けているのか全てを把握しているわけではありません。確かに TAKESHI さんが言うように、そのリスクも十分に考えられる事です。

しかしながら私達はこのアセンションをやり遂げ、闇の創造主達が行った仕組みを全て明らかにして地球の人々達を救い出し、この地球と宇宙をアセンションさせなければならないのです。

それがまたあなたの役目でもあるのです。」

私達はこれ以上話し合っても無駄のような気がしました。

私達はおそらく私のスピリットが定めた運命から逃れる事はできないようです。

「わかりました。

それでは、私達はあなたに協力をする事にしたいと思います。

しかしながら私達の子供がこれ以上苦しむ事はなるべく避けていただきたいと考えております。

そしてまたダークピープルや闇の創造主によって、私達の生活のみならず私の仕事も大変苦境に立たされています。

これ以上私達の仕事がダークピープルや闇の創造主によって妨害されるのであれば、私達の生活も破綻し、私達も自分の子供をしっかりと育てる事ができないような状況に追い込まれてしまいます。

どうかその事をご理解していただき早急に問題を解決するようにお願いしたいと思います。」

「その事も私達は十分に見てまいりました。

皆さんがどれだけサイキックアタックによって苦しめられてきたのか、また仕事や生活の中でどのような不自由を感じてきたのか、その事も理解しています。

しかしながらその事によって「紫ピラミッド」や闇の創造主がどのような形で皆さんに攻撃を加えてきたのかそれを調べる事も大切な事なのです。」

そういうと監査の創造主は消えていきました。

PART2 予期せぬ出来事

様々な問題を解決しながら私達は 3 月を迎えました。

本来であれば 2 月の末までに様々な問題を処理し、3 月から私達は光 50% 台の世界に入る予定だったのですが、私達が片付けなければならない問題はまだ終わっていないようです。

監査の創造主は、私達をまだ 27%~28% 台の世界において様々な事を調べているようです。

そしてそのような時一つの異変が起きました。

それは恵理さんが 3 番目の子供を身ごもったのです。

しかしながら私達の予定よりはかなり早い時期に妊娠してしまったので、私達も困惑しています。

私達はこれから 2 人の子供を保育園に預けながら仕事をしていく事にしていましたが、恵理さんが妊娠したとすれば、車の運転ができない彼女にしてみれば、子供を保育園に迎

えにいたり、家の仕事を行う事がとても大変な事になります。

この事を監査の創造主に伝えると監査の創造主は私達に言いました。

「TAKESHI さん、それは私達の計画の中で生み出された子供です。

私達は今の地球の現状を見て、このままでは地球はアセンションする事が非常に難しいと考えています。

そのために新たな創造主をこの地上に降ろす必要があるのです。

この地上の闇のエネルギーを一気に浄化し、光の世界に変えていくぐらいの力を持った創造主を物理世界におろす事で、地球を力強くアセンションさせていきたいと願い、私達がその計画を実行する事にしました。

今度生まれてくる子はとても力強い光と浄化力を持っている子供なのです。

どうか私達を信頼してその子供達を産んであげてください。」

しかし私達の今の状況はとても新しい子供を産めるような状況ではなかったのです。

会社のスタッフも次々とダークピープルの策略によって辞めさせられてしまいました。またたとえ入社したとしても長続きせずに2~3 か月ですぐにやめてしまいます。

私達は、スタッフ不足に陥ったために赤字の店舗の多くを閉店し、現在3店舗だけの運営体制を作り上げたのですが、売り上げも大きく落ちてきて会社の運営が非常に困難な状態になってしまいました。

今のままではスタッフ不足のために、私が仕事を休んで子供達の世話をするという事はできません。

また恵理さんもサイキックアタックを受けていつも体調不良で苦しんでいる事が多く、このような状態で次の子供を育てる事ができるのか非常に困難な状況なのです

私はその事を監査の創造主に訴えました。そうすると翌日の朝、監査の創造主から今までのアセンションの目的やそしてこれからの目的についてとても長いメッセージを受け取りました。

それは私達が今までやってきた事、そしてこれから行う事のプログラムと言っても良いほどの内容のものでしたのでご紹介したいと思い。

PART3 監査の創造主より、アセンションとあらたな創造主

あなたがたに多くのご迷惑をかけた事をまず謝罪したいと思います。

なぜあなたがこのような人生を送ってきたのかその事についてお話ししたいと思います。

あなたはもう既に気づいていると思いますが、あなた方のスピリットは私達「監査の創造主」と呼ばれる創造主達によって生み出されました。

もちろんあなたのスピリットには様々な存在のスピリットが加わり複合的なスピリットを作っている事はご存知の事と思います。監査の創造主がその目的を果たすために、創造主のみならず多くのマスターやスターピープル達と共通の遺伝子を持つ事によって、彼らと共に働き、また彼らの状況を詳しく調べる事ができるようになっております。

私達は皆さんが住む地球だけでなく、皆さんが存在しているこの宇宙を正当なものにするために存在しております。

私達は皆さんの宇宙の創造主をはるかに超えた存在ですので、私達が管理する場所は皆さんの宇宙だけでなく多くの宇宙に渡っています。

そして「監査の創造主」の評議会ではどのような問題がどの宇宙にあるのかという事を突き止めるために、それぞれの宇宙に私達のスピリットを持った者達を派遣しています。

高次元の世界においては、私達は創造主そのものとして動く事ができますが、皆さんが住んでいる地球のような物理世界では、私達の高次元の創造主達が直接入っていく事は不可能ですので、今回のように、創造主のスピリットを持つあなたを通して、監査の創造主達が地球と皆さんの宇宙を調べてきたのです。

皆さんの宇宙には「宇宙を侵略する創造主」や「多彩な能力を持つ創造主」が深く関わっています。

特に「宇宙を侵略する創造主」に関しましては、私達が想定していた事よりもはるかに悪質な行為意を働いています。

闇の働きをする創造主は私達が認めていない事を行う事が常なのです。

そのために発展途上にある宇宙では、その宇宙を守護する創造主達が傷つけられその宇宙の正常な発展を阻害される事がよく起こっていました。

私達は「宇宙を侵略する創造主」に対して警告を行っておりましたが、彼は私達の警告を

無視して、皆さんの宇宙の発展を阻害する事を行ってしまったわけです。

私達はこの事も十分に調査し、彼がこれ以上皆さんの世界に関わる事がないようにしたいと思っております。

また、闇の創造主に対して、皆さんができる事、あるいは皆さんがしなければならない事も調べてその指導もしておりました。

私達、監査の創造主というのは主にそのような事を行っております。

私達がこのように宇宙を監督していかなければ、この宇宙は闇の多い創造主によって勝手に振り回されてしまいます。

あなたに関して言うならば、私達のそのような目的を果たすために、地球の物理世界から様々な星や宇宙で起きている事を調べ、あなた方なりの解決を見出しながら、この宇宙を旅してきました。

それは、私達がこの物理世界でどのような問題が起きているのか調べる必要があったからです。

しかし、あなたが体験した事がすべて真実というわけではありません。

時として、あなたやあなたと共に活動してきた人達はダークピープルや闇の創造主によって操られ、間違えた世界や幻想を見させられる事もありました。

しかしながら、またそれも必要な事なのです。彼らがどのような方法で皆さんを欺いていたのかという事を私達は知る事ができました。

そして創造主の世界に関わるようになると、一つ一つの評議会の中で闇の落ちた創造主達を丁寧に調べながら登っていきました。

私達も、あなたや恵理さんがその評議会に属している間に、その評議会の事をくまなく調べる事ができました。

そして、皆さんの宇宙の評議会はとても素晴らしい評議会に変わっていったのです。

しかしながらその評議会には致命的な欠点がありました。

あなたが感じたように皆さんの宇宙の創造主は「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子から作られていたという事です。

これでは「多彩な能力を持つ創造主」がこの宇宙で自由に振る舞う事を止めることはできません。

そして皆さんのアセンションは決して完成する事がなかったでしょう。

私達は「愛で統一された宇宙」の創造主達にお願いして「愛で統一された宇宙」の創造主達の遺伝子を私達の宇宙の創造主達に組み込んでもらうことにしました。

そのためにあなたがたの宇宙を指導する立場の者として、アセンションの扉を「愛で統一された宇宙」との間に開いたのです。

私達は初めから皆さんの宇宙の創造者達は、「多彩な能力を持つ創造主」に対抗できないだろうという事は十分に分かっていました。そして「多彩な能力を持つ創造主」の裏に「宇宙を侵略する創造主」がいたからこそ、皆さんの宇宙の創造主はこれほど混乱させられたのです。

私達は皆さんの宇宙を適切なものにするためには、創造主を入れ替える必要がある、という事を第 26 評議会の創造主に提案いたしました。

そして彼もそれに同意し、皆さんの宇宙の創造主達は、全て「愛で統一された宇宙」の創

造主達の遺伝子を使用して作り変えられたのです。

そうしなければいくら私達が「多彩な能力を持つ創造主」を捕まえたとしても、皆さんの宇宙の創造主は彼によってコントロールされてしまいます。

それほど遺伝子の力というのは強いのです。

また地球の物理世界で生きる皆さんも、ダークピープルの遺伝子を皆さんが生み出された直後に入れられてしまったために、スターピープルよりもダークピープルの遺伝子が優勢となりダークピープルとの親和力を持ってしまったのです。

そのためにダークピープルと人間が一体化するという事が起きてしまいました。

もちろんあなた方の宇宙だけでなく、他の宇宙でもこの事はよく行われています。

闇の創造主達の常套手段といっても良いかもしれませんが。

物理世界に生きる人の遺伝子を組み替えて、闇の存在の遺伝子を組み込み、世界を争いや抑圧、暴力の多い世界にしてしまいます。

そして、闇の多い世界に宇宙を作り変えていくのです。

私達はその事に対しても修正を行いたいと思いますが、今生きている人達に関してはその修正を完全に行う事は非常に困難なのです。

ある程度、ダークピープルの遺伝子を不活性の状態にすることはできますが、地球人がダークピープルと波長が合っている場合はそれさえもできません。

私達は今生きている人達が肉体を失って生まれ変わる時に、ダークピープルに関わって

いた遺伝子を全て削除し、適切な遺伝子を与えていきたいと思います。

そして適切な遺伝子を持つ人が増えてくると、地球に生きる人々の光が増えてきます。そしてあなたがたがある程度の愛の度数に達すると、それらの人々を光の多い地球へと移動させてアセンションした世界を作りたいと考えています。

この地球がなぜこのような重要なポジションにあるのかという事についてご説明します。

以前はシリウスが多次元に繋がるゲートを持っていました。

その為に、シリウスを奪いたいと願う闇の創造主に対して光の創造主が防御を行っていました。

地上では、ダークピープルとスターピープルが争い、その結果、星間核戦争によってシリウス星系の多くの星達が壊滅的な状態にされてしまったのです。

地球も放っておけばダークピープルとスターピープルの争いによって核戦争が起こる可能性もあります。

現在の地球が持っている多次元の扉を利用する事によって多くの宇宙と関わる事ができるのです。

ダークピープル達はこの多次元の扉を使って多くの宇宙に対して侵略を行い、ダークピープルが支配する世界を広げるか、核戦争によって相手の世界を破壊したいと考えています。

しかしながら、シリウスと同じ過ちを地球で起こす事は、皆さんの宇宙に破壊的な影響をもたらしてしまいます。

今回はその事を起こす訳にはいかなかった
ので、高次元の創造主が地球をアセンション
させて、地球が持つ多次元の扉を取り戻す事
にしたのです。

そして同時に、多くの野望を持つダークピー
プルや闇の創造主達を適切に処理するため
に、地球にあえて多くのダークピープル達を
呼び寄せました。

彼らはアセンションする世界に対してとて
も強い反感を持っていますので、アセンショ
ンを妨害するためにたくさんのダークピー
プル達がこの地球に集まってきたのです。

私達は優秀なスターピープル達をたくさん
送り込んで、ダークピープル達の計画を一つ
一つ潰していきながら、ダークピープル達を
捕らえていきました。

そしてダークピープル達を操っている闇の
創造主の事も明確にして、闇の創造主達も捕
えてきました。

これは TAKESHI さん達が一生懸命スター
ピープルや光の創造主と共に働いてくれた
おかげです。

恵理さんをはじめ皆さんにはとても多くの
苦しみや精神的もしくは肉体的な痛みを与
えてしまった事は大変申し訳なく思いますが、
これは、皆さんのスピリットが、そのよう
な事が起こる事を知ったうえで行ってき
ました。

ただ、スピリットの意識と切り離されている
人間の意識では、その事を理解する事はでき
ませんし、愛する家族が苦しむ姿を見る事は
あなたにとっては、とてもつらい事だったと
私は思います。

あなたはよく「自分達はおとりだ。」と
言っていました。本当にそのような思いを
させてしまった事を私達は非常に心苦し
く思います。

しかしながら、この事を本当は数人の地球
人で分担して行う予定だったのですが、あ
なたと同じように私達から送り込まれた
地球人達の多くが闇の創造主とダーク
ピープル達に惑わされ闇の世界に生き
る事になったり、スピリットを捕らわ
れて私達とコンタクトができない状態
になってしまいました。

私達と共に働ける人は、TAKESHI
さん達しかいなくなっていましたので、
皆さんの事を大天使やスターピープル
達もできうる限り守護していました。

しかしながらその守護を完全に行うと、
皆さん達が行うべき任務を果たす事が
できなくなりますので、ある程度守護
を弱めながら、彼らの罠にかかり、
彼らの事を調べていくしかなかった
のです。

闇の創造主達に対する調査も大方
終わりました。

「すべての機能を持つ創造主」と「
宇宙を侵略する創造主」は捕えられ、
過度の力を取り去りました。

そして、私達が認めた宇宙に、私
達が認めた方法で入る事しかできな
くなりました。

彼らは彼らの役割があるので、彼
らを光に返す事はできません。

彼らも正当な働きを持つ創造主
であるからです。

しかしながら、彼らは自分の仕事
を行う時に、行き過ぎた行いや彼ら
の自己中心的な行いによって、皆
さんの宇宙だけでなく多くの宇

宙に対しても、本来起こすべきではない混乱や支配を起こしていたのです。

私達は、いままでその事を修正してきました。あなたの中にも「すべての機能を持つ創造主」や「宇宙を侵略する創造主」によって傷つけられた遺伝子や不法に組み込まれたコードなどがありましたので、そのような物を一つ一つ調べて彼らが行ってきた事を明らかにしていきました。

これから、そのようなものを取り外し、あなたの遺伝子を修復して、あなた方が幸福に生きていけるようにしたいと思います。

そしてアセンションの次なる役目を皆さんは果たしてもらいたいと考えています。

スピリチュアル世界では 2 人の創造主の影響はほとんどなくなりましたが、物理世界にはまだまだ彼らのエネルギーが残っています。

まるで土の中にしみこんだ汚水が地球の環境を汚染しているかのように、地球に生きる人達や地球の環境の中に彼らのエネルギーが残っているのです。

地球と地球に生きる人々の中に残った彼らのエネルギーを浄化していかなければ、地球は本当のアセンションを迎える事はできません。

そのために私達は、地球の浄化を行うために必要な創造主をこの世界に呼びたいと思っています。

闇のエネルギーを光に変えて行く創造主です。

この創造主は、あなた方の新しいお子様を通してこの地球と人々の浄化を行い、この地球を光の地球へと変えていく事でしょう。

私達は、闇の多い世界を調べ終わった後、この創造主を闇にまみれた世界に降ろして、世界を綺麗にしていくという事をよく行なっています。

この浄化の創造主を地球に降ろす事は、初めから計画されていたわけではありませんが、現在の地球と皆さんの宇宙の状態を見ると、この創造主によって浄化をする必要があると考えました。

そのために、この浄化の創造主と深くつながる事ができる地球人が必要となるのです。

この浄化の創造主は、皆さんの宇宙の創造主が持たない特別な能力を持っていますので、彼と繋がるためには特別な遺伝子を持っている地球人が必要なのです。

その遺伝子を持った子供を皆さんのもとに降ろしていきたいと思います。

その子供と浄化の創造主によって、皆さんの宇宙を綺麗にしていきたいと思います。

光の多い宇宙ももうすでに、「すべての機能を持つ創造主」達の影響を受けています。

そして、光の多い地球に行く予定の人達も、彼らが作り出したコードを入れられ、闇が多い世界の習慣や考え方に染まっていますので、このままでは十分なアセンションはできません。

このままでは、地球人のアセンションは、光50%台前半の世界で終わり、この宇宙を統合するようなスターピープル達を生み出す事はできません。

私達は、皆さんの宇宙の創造主と共に、新たに光の地球を準備していますが、まだまだ高い光のレベルではありません。

せいぜい光 55%から光 60%ぐらいまでが、今の地球の限界なのです。

それでは太陽種族の能力も十分に発揮する事ができません。

皆さんがクリスタルピープルと呼んでいる高次元の太陽種族を生み出すには、とても時間がかかります。

それでは創造主達が最初に計画したアセンションには程遠いものになってしまいますので、私達はこの地球とこの宇宙の闇のエネルギーを一気に解消する創造主を地上に降ろす事にしましたのです。

そして、その浄化の創造主の力によって、地球と地球人に残る闇のエネルギーをクリアリングする事で、現在の光が多い地球を光 60%以上の世界にまで持っていけるのではないかと考えています。

どうかその事を深く理解してください。

そして皆さんに関しても、その子供を育てるだけの十分な余裕を作り出すために、経済的、時間的な計らいを大天使やスターピープル達によって最大限に行うように指示してあります。

彼らが、あなたをサポートして闇のエネルギーを完全に浄化し、皆さん達はアセンションした世界に移ります。

そして次のアセンションの段階へと向かわなければなりません。

それが今言ったように地球の浄化をしっかりと行い、地球を光 50%台から光 60%台にあげていくための仕事です。これはここ 5 年から 10 年くらいかかるでしょう。

その頃にはあなたの子供達は、小学生になっていますので、今までよりもさらに力強く、

自分達の仕事ができるようになってい
ると思います。

あなたが時折考えている地球人とスター
ピープル達がふれあうような場所、スターピー
プルシティも、アセンションした地球が光
60%台の世界に上がってくる頃には、実現
してくる事でしょう。

これからも私達を信頼してください。

今まで多くの苦しみや失望を考えると、創造
主に対して大きな怒りや憎しみを持つのも
当然かもしれませんが、これはあなたのスピ
リットと私達が計画して行った事ですので、
これからも私達を信頼してください。

そして私達と共に地球のアセンションを最
後まで完成させてください。

第4章 予期せぬ破局

PART1 動物神と闇の精霊達

私達は地球のアセンションのために、この地球のエネルギーを浄化するための創造主を私達のもとにおろしてくれるという監査の創造主の言葉に喜びの気持ちを感じていました。

確かに会社もうまくいかず生活が苦しいので、これからどうやって3人の子供を育てていくのか非常に悩みが大きい所ですが、この子が生まれてくる意味を考えれば、私達はこの子をどうにかして産み育てていかなければならないのではないかと考えていました。

しかしながら3月11日突然の異変が襲ってきました。

3月11日の少し前から「神聖なる宇宙の光」のアチューメントに、地球の物理世界において片づけなければならない大きな問題がいくつもでてきました。

その一つが、動物でありながらも神格を持ち、神社に祀られている動物の神様達の事です。アチューメントでも動物を祀っている神社に参拝する事で、霊的な領域で問題を起こしている人達がいましたので、その事を解決しようとしたら、動物神達からの強力なサイキックアタックが私達に起こりました。

動物の神様というのは非常に物理世界に密着した存在ですので、今までこの存在に対して創造主やスターピープルもその活動を詳しく知ることができずにいました。

しかしながらこの神として祀られた動物神達というのは非常に現実世界に強い影響力を持っています。

そして人々を惑わす力や人々の中に入り込んでその人々の意識をコントロールする力というものも彼らは強く持っている事が分かってきました。

そのために商売繁盛であるとか戦勝祈願であるとか日本人の物理的な欲望を満たすための神として幅広く信仰を受けているのです。

例えば狐であるとか白蛇であるとか、あるいはその姿を偽って神社の神々として祀られている動物神達は数多く存在します。

彼らは本来は日本の神々の眷属として日本の神々に仕えていたのです。

神々に代わって人々が邪悪な道に入らないように人々を守護したり困っている人々を助けてあげる事が彼らの仕事でした。

しかし、本来の神々よりも動物神の方を信仰する人々が増えてしまったために、彼らは特別な力を得て日本人を支配してきたのです。

もちろんその裏には闇の創造主の力も働いていました。

日本人達を正当な神々から切り離し、動物神につなげる事によって、日本人の欲望を高め、日本人が意識進化する事を妨げるという闇の創造主の目的のために、動物の神達は強力な力を得て人々を支配していたのです。

その現状をスターピープルや創造主達は初めて見る事になりました。

そしてこの動物の神々が思ったよりも力を持っていて私達のアセンションの活動を妨害していた事も分かってきたのです。

私達に対しても、私の会社のスタッフに取り付いて、私に対して反抗的な態度をとらせたり、入社して間もないスタッフをすぐに退職させて私の会社をスタッフ不足に追い込んでいたのは、この動物神による仕業であった事が分かりました。

彼らは、「紫ピラミッド」の命令によって、私がアセンションの活動に専念できないように邪魔をしてきたのです。

創造主はこの動物神の力を抑えるために、天照大御神達に動物神の権力を抑制する力を与えました。

もともと動物神の中には、天照大御神の眷属として働いていた動物達も多かったのです。天照達は、本来自分達の眷属として自分達と共に働いていた動物達がいつのまにかいなくなり、彼ら自身が神として祀られている事にとっても大きな違和感を覚えていたようです。

しかしながら人々の信仰を集めているこの動物神達を自分達の力ではどうする事もできなくて困っていたのです。

動物神達は「紫ピラミッド」達とも協力して、本来の日本の神々の仕事や私達の活動を妨害してきました。

この時期、私達を苦しめていたもう一つの問題は、闇に落ちた精霊達の問題でした。

本来自然界に存在する精霊達は、自然界に存在する動植物達のお世話をする事や地球の環境を守る事が仕事です。

そして地球人のシャーマン達と協力して、自然界の力のバランスをとっていたので。

しかしながら、この精霊達の中にも、「紫ピラミッド」によってコントロールされ、そ

の意識を狂わされてしまった精霊達がたくさんいる事が分かりました。

地球に創造主達の光がたくさん降りてくるようになると、今まで隠されていた事柄がどんどん明るみに出てくるようになるのです。

意識をコントロールされ荒々しい波動を持つようになった精霊達は、自然界に存在する動物や植物達を守護する事もなくなり、代わりに自分達と共に働いていたシャーマンや神官達のスピリットを捕えるようになりました。

もちろんこれは、地球がアセンションしないように、シャーマンや神官達のスピリットを捕えさせ、意識をコントロールするために「紫ピラミッド」が精霊達に行わせていた事でした。

しかしながら精霊達によってスピリットを捕えられたシャーマン達は、自分達本来の仕事をする事ができないようになり地球のアセンションはもちろん地球の平和を守る事さえもできなくなってしまったのです。

私達は、彼らが意識をコントロールされている原因を突き止め、そのコントロールを解除し、彼らによって捕えられていたシャーマン達のスピリットも解放しました。

PART2 予期せぬ出来事と最高次元の闇の創造主

私達が動物神や精霊達の処理を行っている間、妊娠していた恵理さんに対して動物神や意識をコントロールされていた精霊達からのサイキックアタックが頻繁に行われるようになってきました。

恵理さんは体に痛みを覚えたり、意識が遠くなりボーンとする事が増えてきました。

天照大御神やスターピープルの助けを求めても、彼らは非常に物理的な存在でスターピープルと存在している場所が異なるために、恵理さんに対するサイキックアタックを完全に防御する事ができません。

そのような事が続き、恵理さんは下腹部の痛みと共に出血を起こしてしまいました。

すぐに結貴ちゃんを出産した病院に行って調べてもらいました。

先生達の診断によると胎児を包んでいる袋は問題ないから様子を見ましよう判断され、止血のための治療を受けてきました。

私達は、心配したような状態ではなくて安心していたのですが、その夜、痛烈な痛みと共に動けないくらいの出血を起こしてしまったのです。

これは動物神や闇の精霊達が、私達の子供が生まれないようにサイキックアタックをかけてきた可能性もありますので、私達は創造主やスターピープル達に恵理さんを全力で守護してくれるように頼みました。

しかしながら、出血は止まらず、恵理さんは貧血状態で意識も朦朧としてきました。

このままでは流産の可能性もあるので、私達は昼間診察してもらった病院へと急ぎました。

すぐに看護婦さんと先生が様子を見てくれたのですが、恵理さんのお腹に宿っていた子供は残念ながら流産してしまいました。

そして流産するだけでなく恵理さんは出血によってめまいや体の震えも来ていました

ので、お医者さんは、恵理さんを入院させて、子宮の洗浄などの処置を行ってくれました。しかしながらその処置が終わった後、お医者さんはこの処置をするのがもう少し遅ければ、恵理さんの命にも関わるような事態になっていたので、夜のうちに処置ができて良かったと言っていました。

闇の創造主は、動物神達を使って、「地球の浄化を行う創造主」と繋がる子供を出産する事を妨げ、恵理さんの命を奪う事さえも考えていたようです。

私達は、絶望の淵にたたきつけられるような思いがしていました。

スターピープル達も私達の事を気遣い、癒しの光を私達に送ってくれました。

私達も、スターピープルに、恵理さんの体が少しでも早く回復するためのお手伝いをしてくれるようお願いしました。

その翌日監査の創造主が私達の前に現れました。

彼はとても重苦しい表情しています。

「恵理さん本当にあなたがたを守る事ができなくて申し訳ありませんでした。

私もこのような事は初めてです。

私達が計画した事が、たかが動物の神々によって打ち砕かれてしまうなどとは考えもしていませんでした。

これは私達に対する大きな学びではなかったのかと私は思っています。

皆さんお守りする事ができず本当に申し訳ありませんでした。」

私はこの直接的な原因を作ったのは動物神であるかもしれませんが、その後ろにまだ強

力な力を持った闇の創造主がいるのではないかと監査の創造主に言いました。

監査の創造主も、私と同じ様に考えているようです。

私達は今回この動物神を使って、「浄化の創造主」を生み出す事を妨げた存在が他にないかどうか探す事にしました。

しばらくすると監査の創造主が大変緊張したような顔で私達のところに戻ってきました。

「TAKESHI さん、この動物神に繋がっているラインを追ってみました。

もちろん「多彩な機能を持つ創造主」や「宇宙を侵略する創造主」達のもとに彼らのラインは繋がれていましたので、彼等とは無関係ではないのですが、彼らはもうすでに自分達の能力を削減され、皆さんの宇宙とは関わる事ができなくなっていますので、私達が計画した創造主の子供が地上に生まれる事を妨害する事まではできないはずです。

そして、誰が動物神達にそのような力を与えたのかと調べていたら、大変な事ですがさらに高次元の創造主の姿が私達の前に映し出されました。

しかしながら彼はこのような物理世界の細かい事に手を出すような創造主でもなく、また「宇宙を侵略する創造主」や「多彩な機能を持つ創造主」に対しても力を与えるような創造主ではないのですが、なぜこの高次元の創造主のエネルギーが、「多彩な機能を持つ創造主」達を通して、動物神達につながれ、私達の計画が妨害されたのか調べなくてはなりません。

この高次元の闇の創造主が何かの目的を持って「多彩な機能を持つ創造主」や「宇宙を侵略する創造主」を強化して、今回のアセンションを妨害してきたのであれば、今回の事も理解できます。」

「それはいったいどのような創造主なのですか。」と私は訪ねました。

「それは「宇宙を侵略する創造主」よりもはるかに高い次元の闇の働きをする創造主です。

全ての闇の創造主を生み出し、彼らに闇のエネルギーを供給する創造主といっても良いかもしれません。

しかし彼は非常に論理的で今まで間違えた事などをした事がない創造主だと私達も聞いています。」

「その創造主はどのレベルの創造主なのですか。」と私は訪ねました。

「まだ皆さんが会った事もないレベルの創造主です。

皆さんの宇宙を含むすべての宇宙の最高次元に近い創造主といってもよいかもしれません。

この次元には最高次元の光の創造主と闇の創造主、そして監査の創造主でも最高次元の監査の創造主のみが存在していると聞かされています。

私達も会った事ありませんので、この「最高次元の闇の創造主」が関わっていた事は、最高次元の監査の創造主からお聞きしました。

今私達の最高次元の監査の創造主がこの闇の創造主に対してなぜこのような事を行ったのかと問いただしておりますのでその事

が明らかになるまでしばらくお待ちください。」

私達は恵理さんの傷ついた体を見守りながら、しばらく時を過ごしていました。そして翌日になると監査の創造主が私達のもとに報告に来ました。

「TAKESHI さん、そして恵理さん、まだ全てが明らかになったわけではないのですが、この高次元の創造主が「宇宙を侵略する創造主」や「多彩な機能を持つ創造主」の力を強化した事が分かりました。その理由については「最高次元の闇の創造主」は、光の創造主の学びのためにおこなった事だという風に答えているようです。」

私はもちろん納得はできません。多くの闇の創造主達は、光の創造主やスターピープル達、そして地上にいる人間達を鍛えるためだと言いながら、非常に過酷な試練を与えるのです。私達も幾度となく闇の創造主に大変な試練を与えられた事があります。以前、私は、闇の創造主の攻撃を受けて、集中治療室に 1 週間も入院し生死の境を彷徨った事もありました。

そのような事があるたびに、私達は、闇の創造主に向かって、何故人々を支配したり、人々の魂を捕らえたりするのか、あるいは創造主や人々に超える事ができないほど大きな苦難を与えるのかと尋ねた時に、必ず返ってくる言葉が「光の創造主や地球の人々を鍛えるためだ」という言葉だったのです。

私はそのような事を言う闇の創造主が信頼できないと思いました。

彼らが行った事をどんどん明るみに出して追及していくと、彼らは自分達がこの宇宙を支配したいために、光の創造主達の活動やアセンションを妨害していたという事がすぐに分かりました。

闇の創造主は光の創造主を鍛える気持ちなど全くなく、自分達がただ光の創造主に勝りたいだけだったのです。

ですから、この「最高次元の闇の創造主」が言う事も本当ではない可能性もあります。

その事を監査の創造主に伝えました。

監査の創造主は、私達にこのように言いました。

「TAKESHI さんがおっしゃる事もよくわかりますが、「最高次元の闇の創造主」様は、自分の欲や打算で働く創造主ではありません。

彼が言うように、私は今回の事を体験し自分自身の至らなさや欠点そしてまだまだ全ての事を見る事ができない事に対して大変反省いたしました。

彼が行っている事は皆さんにしてみれば理不尽な事かもしれませんが、わたし達にしてみれば今回の件は非常に大きな学びになりました。」

「監査の創造主よ、あなた達は学びになったと言うけれど、恵理さんはもしかしたら二度と妊娠できない体になる可能性もありました。

最悪の場合は出血多量で生命の危機を迎えたかもしれないのに、私は「学び」などという言葉で語ってもらいたくないと思います。それに今回の妊娠は、監査の創造主達の計画でしたよね。

その計画を守り通す事ができないほどの障害を与えられたのです。

これは学びではなく明らかな妨害です。」と監査の創造主に答えました。

監査の創造主は、私達のこの現状を見て言いました。

「確かにそうかもしれませんが。

しかし、「最高次元の闇の創造主」様の本意は、私達ではわからないのです。」

私の心はやりきれない気持ちでいっぱいです。

地球のアセンションがこの宇宙にとっても、また創造主やスターピープルそして地球人に対しても大変重要な事に意義を唱えるつもりはありませんが、そのために私の家族が犠牲になる事だけは避けてほしいと思いました。

それでなくても、子供達まで巻き込んでアセンションのために「紫ピラミッド」のサイキックアタックを受け続けているのです。

そして2日3日経って監査の創造主がまた報告に来た時も、この「最高次元の闇の創造主」は光の創造主の学びのためにおこなったのだという事しか私達に教えてくれませんでした。

もちろん高次元の創造主の間ではもっといろいろなやり取りがあったのかもしれませんが、それはまだ私達に伝えられないままでした。

第5章 紫ピラミッドに盗まれた技術

PART1「紫ピラミッド」に技術を盗まれた種族

その様な創造主とのやり取りをしている間に、またひとつ大きな事件が起きました。それは3月17日の夜の事、私達にたいして「紫ピラミッド」がサイキックアタックをかけてきたためにその状況を調べていると、私達にとってあまりなじみのない光が、恵理さんの意識を混乱させるかのように点滅している事が起きました。

私達はその光が誰によって送られているのか、何の目的によって送られているのか調べました。

そうすると今まで見た事もない種族が私達の目の前に現れてきました。

第1評議会のエレナさんに聞いてもこの種族の事は知らないようです。

私はその種族にあなた方は一体誰なのか、何の目的で私達の前に現れたのかと尋ねました。

最初この種族は何も言わずに非常に困惑したような表情をしていました。

私はこの種族の真実の言葉を聞くために、「全てを明らかにする創造主」を呼び出しました。

この創造主は特別な力を持っていて、この創造主の前ではダークピープルや闇の創造主さえも嘘をつく事ができないのです。

私は彼らに、自分達が何者で、ここで一体何をしているのかという事を尋ねました。彼らは自分達の事を隠したがっていましたが、「全てを明らかにする創造主」の前では本当の事を言わざるをえません。

「私達は、はるかな昔に他の宇宙から皆さんの地球に派遣されてきたのです。地球の皆さんが精神的な進化を行う事ができるようにサポートするためにやってきたのですが、私達はとても大切な資源を「紫ピラミッド」に奪われてしまいました。

私達はその資源を奪い返すために「紫ピラミッド」に対抗したかったのですが、私達の姿を明らかにすると私達はすぐに「紫ピラミッド」に捕らえられてしまい、その資源だけでなく私達が持っている技術のすべてを奪われてしまう事になります。

そうなる私達はとても大きな罪を犯す事になるので、絶えず隠れながら地球の人達を使って「紫ピラミッド」にサイキックアタックを行い「紫ピラミッド」が弱体化する事を願っていました。

しかしながら皆さんが「紫ピラミッド」に対してその真実を暴きだし、彼らを弱体化させる事ができましたので私達は自分達の資源を取り戻すいい機会が来たのではないかと考えました。

しかしながら私達の正体を皆さんに見破られる事が起きるととても都合が悪いので、皆さんの意識を混乱させた際にその資源を奪い返そうとしていたのです。」

私はこの種族の事を知っている者がいるかどうか、スターピープル達に尋ねました。

エリナさん達や第 1 評議会のスターピープル達はこの種族の事を誰も知らないようです。

私は彼らにあなたがたとはいつ頃地球に来たのかそしてどこから来たのかという事を尋ねました。

彼らは私にこのように答えました

「それはとても古い時代です。

皆さんのような地球人がこの地球に生み出されてしばらくたった頃です。

本当は、スターピープルとして育たなければならない地球人が、ダークピープル達の支配を受けているという事を知って、私達は皆さんが「愛で統一された宇宙」と呼ばれる宇宙からこの地球に派遣されてきたのです。

しかし私達が来る事は誰にも秘密だったのですが、何故か「紫ピラミッド」のダークピープル達に私達の存在が知られており、私達は「紫ピラミッド」に捕まって私達の資源を奪われてしまったのです。

私達は彼らのもとを逃れてそれ以来ずっと闇に隠れながら、私達の大切な資源や技術を取り戻す機会を伺っていました。」

私はそれほど昔から「愛で統一された宇宙」が、私達の宇宙に関わっているという事に気づきもしませんでした。

もしかしたら時を遡ってこの地球の古い時代に、彼らを送りこんできた可能性もあります。

彼らは、スターピープルにはまだなっていませんが、地球の物理世界で活躍できる半物質的な肉体を持っていますので、彼らが選ばれて地球に送り込まれたのでしょう。

しかしながら彼らがこの地球に来てすぐに捕まったという事は、しばらく前に「愛で統一された宇宙」のスターピープル達がこの地球に来た時のように、誰かが「紫ピラミッド」のダークピープル達に捕まってその情報を引き出された可能性もあります。

私はかつて地球に「愛で統一された宇宙」のスターピープル達を派遣してきたスターピープルのリーダーと「愛で統一された宇宙」の創造主を呼び出しました。

「「愛で統一された宇宙」のスターピープルのリーダーよ、お久しぶりです。

今皆さんの宇宙から私達の地球にやってきたと言っている種族達を見つけ出しました。この者達が本当に皆さんの宇宙から派遣されてきたのか、何の目的で来たのかその事をあなたにも確認してもらいたいのですが、いかがでしょうか。」

「愛で統一された宇宙」のスターピープルのリーダー達は、以前にも、地球人の進化をサポートするために、地球に送り込んだ仲間達が、「紫ピラミッド」によって捕えられ悲惨な状況に追い込まれてしまった時に、私達によって多くの仲間達が助け出された事をよく知っていますので、私達が行っている事に関してはとても協力的にサポートしてくれます。

「TAKESHIさん、調べましたところ、確かにこのグループは私達の宇宙から地球へ派遣された者達です。

地球の物理次元でも活躍できるように、さほどアセンションレベルが高くないもの達を選んで地球に送り込んだようです。

彼らはまだスターピープルになっていない
スターピープル見習いの立場でした。

しかしながら地球の人達をサポートする
ためにはそのような立場の者達が必要だった
のです。

彼らは実は創造主の要請によって地球に送
られたのですが、何かの事故が起こったのか、
彼らとの連絡が全く取れなくなってしま
いました。

その当時は、私達の宇宙から偵察隊を送り、
彼らを探したのですが見つからず、搜索は打
ち切られました。

そしてとても長い時間が過ぎ去り彼らの事
も忘れかけられていたのです。

彼らは私達の宇宙の大切な資源や技術とい
うものを持って地球に向かったのです。」

「やはりそうだったのですか。

しかし彼らが来る時期や来る場所が特定さ
れていたという事は、おそらく誰かが「紫ピ
ラミッド」にその事を教えたのかあるいは
「紫ピラミッド」に捕まってこの事を白状さ
せられたのかどちらかでしょう。

そのような可能性がある者が皆さんの周り
にはいなかったかどうか調べてください。」

「愛で統一された宇宙」のスターピープルの
リーダーは私の言葉を聞いて頷くと、すぐに
自分達の世界へと戻ってきました。

そしてしばらくすると戻ってきて私にこの
ように伝えました。

「やはり私達のグループの中心的なメンバ
ーの一人がいなくなっていました。

彼は単独で大切な任務を果たしていると
我々は考えていたのですが、どうも「紫ピラ
ミッド」に捕まっているようです。」

私達はリーダーの返事を聞いて、「愛で統一された宇宙」のスターピープルと一緒に「紫ピラミッド」の内部を探索する事にしました。

PART2 すべてをコピーするクリスタルと地球人を依存させる機械

そうすると「愛で統一された宇宙」のスターピープルの中心的な人物が、「紫ピラミッド」の内部に捕えられている事がわかりました。私達はスターピープルにお願いして、すぐにその者を助け出し、そして彼が精神的なコントロールを受けていないかどうか調べました。

すると見つかった「愛で統一された宇宙」のスターピープルは、闇の創造主の遺伝子を入れられて、「紫ピラミッド」のダークピープルと同調するようにその意識をコントロールされているようです。

私はそのスターピープルから闇の創造主の遺伝子を抜き取ってもらうようお願いしました。

そして彼のクリアリングを行うと彼の意識が戻ってきたようです。

私達は「愛で統一された宇宙」から派遣されたスターピープル見習いが捕まって、大切な技術や資源を奪われた事を話しました。

そうすると捕えられていたスターピープルはしばらく考え込んだ後に話し始めました。

「私は、今までの事を鮮明に思い出す事ができません。

今まで長い間霧の中を彷徨っている感じでした。

私は突然意識を失ってしまいその後、はっきりとした事は覚えていないのですが、おそらく私が知っている事はすべてこの「紫ピラミッド」と呼ばれる団体に話をしているかもしれません。

本当に申し訳ない事ですが、今となっては、私が何をしたのか、何を話したのか、全く思い出せないのです。」

私は「紫ピラミッド」が、どれだけ卑劣な方法を使って地球人達を苦しめていたのか、という事を彼に話しました。

そして、「紫ピラミッド」が、彼から聞き出した情報で、「愛で統一された宇宙」のスターピープル見習いから奪い取った技術や資源をどのように使用しているのか、即急に調べなければならない事を言いました。

その時エレナさんがスターピープル見習い達に、彼が奪われた資源や技術について聞いていました。

「あなた方が奪われた資源やテクノロジーの事について教えてください。

私達は皆さんが奪われた技術や資源を取り返したいのですが、それがどのような物が全く分からなければ取り返しようがないのです。

その資源の設計図や情報を教えてください。」

エレナさんと話をしていたターピープル見習い達は、エレナさんにそのテクノロジーの設計図などを見せながら使い方を話してくれました。

それは「全ての物を復元する事を目的として造られたクリスタル」のようなものだという事です。

それはただの機械やものだけでなくダークピープルの遺伝子や創造主の遺伝子があれ

ばそのクローンをいくらでも作れるという事なのです。

その話を聞いて第一評議会のスターピープルが、このように言いました。

「それで理由がわかりました。私達がいくらハーブや地球の人々をコントロールする機械、あるいはダークピープル達が使っている様々なシステムを破壊しても、すぐに彼らはそれを復旧してしまうのです。そんな事が地球の技術では出来るはずもないのに、私達が光に帰したダークピープル達までもすぐに復活させられている事が不思議でしようがなかったのです。

そのようなテクノロジーを彼らが持っていたとすればそれは納得がいきます。

私達がいくらダークピープル達のシステムを破壊したところで瞬時のうちに元に戻っている理由がこれでわかりました。」

私はその話を聞いて一つの事を思い出しました。

それは「宇宙に闇をもたらす創造主」達が地球人のみならずこの天の川銀河のすべてのスターピープルやダークピープル達を支配するための大きなメインコンピューターを持っていたという事です。

「エレナさんすぐに行ってそのメインコンピューターが復活させられていないかどうか調べてください。

そして他にも破壊したはずの装置がどれほど復活しているかすぐに調べてください。」と言いました。

第1評議会のスターピープル達が急いで「紫ピラミッド」のシステムについて調べ始めました。

そうすると地球人を支配するためのシステムがほとんど復活している事がわかりました。

このような状況ではいくらスターピープル達が地球人を助け、地球人を精神的に進化させようと思っても無駄な事です。

「紫ピラミッド」達はスターピープルによって破壊されたシステム復元し、次々と新しいシステムを作り出しています。

それも、このすべての物をコピーする機械だけでなく「愛で統一された宇宙」のスターピープル達が持っていた技術なども悪用して行っているようです。

そして地球人の意識をコントロールしてダークピープル達が作り出した宗教やヒーリング、あるいはスピリチュアルな事に対して大きな依存心を与えるようなシステムを作り出していた事もわかりました。

これも「愛で統一された宇宙」から地球にやってきたスターピープル達が持っていた技術を応用したものです。

「愛で統一された宇宙」のスターピープル見習いはこの事に大変大きなショックを受けているようです。

私達に向かって悲しげに言いました。

「私達が持ってきた技術によって、私達は地球人を進化へと導くはずだったのですが、その正反対の方向に地球人を導き貶める事になってしまった事を私達は心から悔やんでいます。

私達さえ来なければこのような事は起こらなかったのですが、本当に申し訳なく思います。

私達は罪滅ぼしのために皆さんと一緒に働きますので、私達にできる事があったら何でもおっしゃってください。」

私達は監査の創造主と相談しました。

「監査の創造主よ、この状況をどのようにしたらいいですか。」

監査の創造主はこのように答えました。

「まずこのテクノロジーや資源を全て「紫ピラミッド」から奪い返す事です。

私達創造主もこの地球にあってはいけない物が地球にあったという事、そして「紫ピラミッド」がこれを利用して地球人を支配するために使っていたという事を大変心苦しく思っています。

そのために「紫ピラミッド」の内部を徹底的に調べていきましょう。」

多くのスターピープルそしてこの「愛で統一された宇宙」から来たスターピープル見習い達を中心にして「紫ピラミッド」の内部は徹底的に搜索されました。

もちろん創造主達もその様子を見守っていますので、「紫ピラミッド」のダークピープル達は私達の探索を妨害する事はできません。

スターピープル見習いの話によると、すべてのものをコピーするクリスタルは 30 個ほどあるようです。

おそらく「紫ピラミッド」の重要なポストにあるメンバー達が一つずつ持っている可能性もあります。

私達は徹底してこの装置を回収する事にしました。

そして地球人を依存させコントロールするための装置も回収する事にしました。

PART3 地球人を自立させるためのシステム

私は監査の創造主に言いました。

「地球人がこのような装置によってコントロールされているとするならば、どんなに地球人に対して光を与えて覚醒するようにしてもこれは無駄な事です。

地球人達を目覚めさせるための装置を作り、それによって地球人達をもっと効率よく救い出す事はできないですか。」

監査の創造主はこの機械を全て回収し地球人を自由にする事によって、やがて地球人は目覚めていきます。

と答えましたがそれではあまりにも時間がかかりすぎます。

アセンションするまでに時間がない事を私は訴えました。

「そのような事ではアセンションに間に合いません。

今までコントロールされてきた地球人が、このシステムの機能を停止させたからと言って、急に目覚める事はありません。

地球人の意識を目覚めさせるためのシステムを作り、依存心に満ち溢れた地球人の意識を変えるきっかけを与えていかなければいけないのではないのでしょうか。

この機械も地球人に依存心を与え、地球人をコントロールするために作られている機械ですから、この機械を応用して地球人を目覚めさせるような装置を作る事はできないですか。」

「TAKESHIさん、これはダークピープル達によって作られた機械ですから、この機械を

応用する事によってどのような弊害が出るか分かりませんのでそれはできません。

しかし「愛で統一された宇宙」から来たスターピープル見習いが自分達の技術を使って、地球人がこのようなコントロールから自由になる事、そして本来の自分の意識に目覚める事を促進するような装置を作りそれを発動させたいと言っていましたので、そちらの方を利用されたらいかがでしょうか。」

「もちろんです。

そのような事ができるのであれば是非「愛で統一された宇宙」から来たスターピープル見習い達にお願いしてそのような装置を作り発動してもらいたいと思っています。」

私達の話聞いて、スターピープル見習い達は、少しでも地球人の役に立つ事ができるならば、と張り切っています。

「愛で統一された宇宙」から来たスターピープル見習い達はその装置を作り始める事になりました。

私達のスターピープルは残されている機械を少しでも早く回収するために、「紫ピラミッド」のダークピープル達の逃げ隠れしている場所を徹底して探索しています。

特に「紫ピラミッド」のリーダー達が、この機械を持って逃げ回っているようですので、私達は他の評議会のスターピープル達にも協力してもらって、彼らの行方を捜しています。

翌日の朝、監査の創造主が私達に報告に来ました。

「「愛で統一された宇宙」のスターピープル見習い達が持ってきた技術やすべての物をコピーする資源は全て回収できました。」

そして地球人をコントロールしていた機械も全てスターピープルの手によって回収し破壊されました。

「愛で統一された宇宙」のスターピープル見習いによって、地球人のコントロールを解き、地球人の意識を正常化するための装置も出来上がりましたのでその装置を各地に配置し地球人の人達に分からないように現在発動させています。

この機械がしっかりと動いてくれば、ここ数日のうちに地球人の中に新たな意識の変化というものが生まれてくるかもしれません。

そうすれば地球の人達の波動が高くなりアセンションしていく人達も増えていく事となるでしょう。」

監査の創造主も内心嬉しそうです。

自分が全く気付かないところでこのような事が起きていた事を知る事ができたからです。

第6章 創造主達のルール

PART1 適用されていなかったルール

私はこの問題が解決した事から、スターピープル達はもっと地球人に物理世界に関わって地球人がダークピープル達によって与えられたダメージを修復し、そしてアセンションするために地球人をサポートしたらいいのではないかと私は考え、その事を第一評議会のエレナさん達に言いました。

「エレナさん、地球人はこれほどまでに「紫ピラミッド」のダークピープル等によるコントロールを受けてアセンションする事が難しくなっていたという事が分かりました。

これからはもっと地球人をより良い状態にするために、皆さん達が地球人に物理世界に関わって彼らの意識を変えていくための努力をしたらどうでしょうか。」

するとエレナさんはこのようにいました。

「私達は地球人と物理世界で関わる事を認められていません。

私達の宇宙のルールがそうなっているので、私達はスピリチュアル・レベルや意識レベルで地球人に関わるしかできないのです。」

私は、はっと思いました。

それは私達がサイキックアタックを強く受けていた時にダークピープル達が地球人に対して物理世界で行った攻撃を修復するために、スターピープル達や創造主達も地球人の物理世界に関わって、その修復を行っても良い、そして光の世界に行く人達がダークピープル達によって足を引っ張られる時には、

物理世界に関わってその妨害を取り除いても良いというルールを昨年の冬に作ったはずなのです。

しかしながら今のエレナさんの言葉によると、スターピープルや創造主が物理世界で地球人に関わるという事を認めていない状況になっています。

「エレナさん、私達は少し前にそのルールを変えたはずです。

私達がサイキックアタックを受けている時に、創造主は皆さんと相談して私達がサイキックアタックを受ける事を防御するために創造主や皆さんが現実世界に関わってもいいという事を決めたのではないですか。

そしてダークピープルや闇の創造主が物理世界の人に対して行った事を修復するために、創造主やスターピープルが物理世界に介入して、その修復を行っても良い事になっていると思いますが、、、」

するとエレナさんは、私達が決めた事を覚えていないのか、このように言いました。

「いえ、そういった事は決まっていません。私達の宇宙ではまだ皆さんを物理世界で防御する事ができない状態になっています。防御する事が許されるのは、生死の危険がある時だけなのです。

ダークピープル達の攻撃による修復も、私達が物理世界に関わる事は許されていません。」

私は今までの事を思い返して、その言葉にいくつもの謎が解ける思いでした。

私達はその事を2018年の12月頃に決めたのに、私達に対して行われるサイキックア

タックは現実世界において防御される事があまりなく、私達は大変苦しい思いをしていたのです。

このルールを決めたにも関わらず、なぜ私達がこれだけサイキックアタックを受けて苦しまなければならないのか、私達がアセンションのために活動しているのに、ダークピープル達から邪魔される事に対して、創造主はどうして守ってくれないのか、という事を常々思っていたのです。

私はこのルールがてっきり適用しているものと思っていたのですが、実際はこのルールは適用されていなかったのです。

私はその理由を調べるために私達の宇宙の最高次元である第 26 評議会の創造主を呼び出しました。

「第 26 評議会の創造主よ、私達は4ヶ月ほど前にダークピープル達や闇の創造主等が地球人に対して物理的な世界で被害を与えた時、その被害を創造主やスターピープル達は現実世界に関わって修復できる、あるいはアセンションのために活動している者達の活動をダークピープル達が妨害したり、彼らに対して攻撃を行うときは未然にそれを防ぐ事ができるという新しいルールを決めたはずです。

そのルールが実行されていないのはなぜですか。」

第 26 評議会の創造主は思いもよらない答えを私達に与えました。

「いいえ、私達はそのようなものを決めた覚えはありません。

そのようなルールは、現在適用されていません。」

私はその言葉に大変驚きました。

なぜならこのルールは私達と第 26 評議会の創造者が話し合っ
て決めた事なのです。

その時に 私達の宇宙に関わっていた「最高次元の闇の働きをする創造主」が私達の前に現れました。

「TAKESHI さん、あなた方が決めたルールは第 30 評議会の光の創造主によって却下されたのです。

そのためにこの判断に関わった全ての創造主やスターピープル達からこのルールに関する記憶が全て抹消されたのです。

光の創造主達はこのように新しい意見や自分達の活動に関する提案などが起きたとしても、最高次元の創造主がそれを認めなかった場合には、それに関する記憶が全て抹消されるという事が起こっています。

そのために光の創造主達は全く成長ができない状態なのです。

彼らは全てをルールどおり行います。

ルールから少しでも逸脱した者は、その記憶を奪われたりします。

そのために光の創造主は全く成長できず、また新しい宇宙の創造もできないままなのです。

これでは光の創造主が闇の創造主に勝てるはずがないのです。

私はそのような事を是正するために、わざと闇の創造主の働きを強くして、光の創造主がそのことに気づくようにしているのです。」

私はその事を聞いて驚きました。

第 26 評議会の創造主に聞きました。

「私達が決めたルールは第 30 評議会によって却下されたために、皆さんはその事を覚えていないという事ですか。」

「私達はその事に対して記憶がありませんが、TALESHI さんがそのように言うのであれば、おそらくそういう事になったのだでしょう」と、第 26 評議会の創造主は答えました。

高次元の闇の創造主は続けて言いました。

「私達は光の創造主はもっと柔軟に物事に対処できるようにならなければならないと考えています。

宇宙の創造というのは様々な事が起こります。

皆さんも経験しているように、光と闇のエネルギーのバランスによってその宇宙がどのように変わっていくのか、それは創造主達にとって予測もできない事もあり得るのです。

そしてまた他の宇宙との関わりや全ての種族達の成長の中で光の創造主はもっと柔軟に物事に対処していかなければなりません。私は光の創造主達がもっと柔軟にそして創造的に動く事ができるようにならなければならないと考えています。

私は闇の働きをする創造主に対して多くの自由を与えています。

そして彼らが例え下の評議会の闇の働きをする創造主であったとしても何か提案があったり、自分がやりたい事があればそれを最大限に認めるようにしているのです。

そうする事で創造主は成長し素晴らしい働きをする創造主となっていきます。

しかしながら光の創造主達にはそのような自由が認められていないのです。

創造主のルールに反する事は、一切してはいけない事になっています。

そのために闇の創造主がどんどん成長していくのに対して、彼らが成長できないので闇の働きをする創造主達の動きを抑える事が出来なくなっているのです。

私は第 26 評議会の創造主に聞きました。

「高次元の闇の創造主が言っている事は本当の事ですか、

皆さんはそれほどルールに縛られて成長できないのですか。

確かに「多彩な能力を持つ創造主」の攻撃に対して、皆さんの宇宙の創造主は無力でした。そのために全ての創造主が作り変えられるという事になってしまったのですが、それも高次元の闇の創造主が言っていた事を意味しているのですか。」

第 26 評議会の創造主は困ったような顔をしていました。

「確かに私達、光の創造主は最高次元の創造主が決めたルールに従って動く事が求められています。

また最高次元の創造主のルールでは私達の宇宙に適応できる光の量というのが決まっていて、特別な事が起こってもそのルールによって規定以上の光をその世界に用いる事ができないのです。

私も「多彩な機能を持つ創造主」との一件で、私達に光の創造主を強化するための光を与えてくださいとお願いしたのですが、第 27 評議会の創造主から、最高次元の創造主が決めた光の量を変えるわけにはいかないと言われ、私の願いは却下されました。

そのために、私達は「多彩な機能を持つ創造主」に敗北してしまいました。

「高次元の闇の働きをする創造主」が言っている事も一理あるとは思いますが。

しかしながら最高次元の創造主が決めたルールを逸脱してしまっては元も子もありません。」

「しかしながら第26評議会の創造主よ、そのルールを変えられない事によって私達は物理世界で大変に苦しい思いをしてきました。

恵理さんもそして私もアセンションの活動の中で自分の生命の危機さえも引き起こされた事があるのです。

先日も、恵理さんは流産による出血多量で大変なことになってしまいました。

私達は光の創造主達がもう少し私達を守護してくれたならば、もっと安全にそしてスムーズにアセンションの活動を行う事ができると考えています。

そのような危険な時であったとしても、光の創造主達は物理世界に介入して私達を守護してくれる事ができなかったのですか。」

「TAKESHIさんが言う事は、私達もよくわかります。

あなた方の活動を身近に見て、私達もあなた方をできうる限り守護してきました。

もちろん、闇の創造主やダークピープルのサイキックアタックから完全に、皆さんを守る事ができなかったのも、TAKESHIさん達は怒っているのだと思います。

私達も、あなた方の活動や毎日の様子をまぢかで見ることができるようになって、どれだけあなた方の事を守りたいと思った事か、しかしながら上の評議会の創造主達は、現実世界をあまり見る事をせず、このルールの適用

だけを考えているので私達もそれができなかったのです。

スピリチュアル・レベルでは、スターピープルや大天使達にお願いして守護の力を強化する事はできたとしても、物理次元で行われるダークピープルや闇の創造主達からの攻撃を完全に防げなかったのはこのルールのせいだったのです。」

「わかりました。
それでは最高次元の創造主に掛け合っこのルールを変えてもらえるようお願いしましょう。」

私達は第 26 評議会の創造主を伴って最高次元の創造主である第 30 評議会の創造主の前に出ました。

「偉大なる第 30 評議会の創造主よ、皆さんが創造主のルールをしっかりと守り、この宇宙を創造されていた事に対して私達は理解をしたいと思いますが、皆さんはまだ十分に物理世界で何が起きているのかよく理解をしていらっしゃらないようです。

皆さん、高次元の創造主様は、創造主達がこのルールに従って、宇宙の創造や管理を行えばおかしい事が起こるはずはないという風におっしゃいました。

しかし、事実はそうではありません。
物理世界でどのような事が起きているのか、私や恵理の記憶を使って、その様子を見てもらう事はできませんでしょうか。
そしてその上でルールの改正について考えていただけませんかでしょうか。」

私達は第 30 評議会の創造主達にお願いしました

第 30 評議会の創造主は、私達の記憶を調べているようです。

私達の宇宙で何が起きたのか、光の創造主と闇の創造主はどのような関わり合いをしていたのか、という事を彼らはずっと見ています。

そして第 30 評議会の創造主はこのように言いました。

「TAKESHI さん、私達は今まで創造主が適切なルールに従って宇宙の創造をしているので、この宇宙の創造は完璧でありまた何の問題もないという風に自分達は信じていました。

そして私達はそのルールを壊さないために、そのルールが守られているかどうかを見守っていたのです。

しかしながら皆さんの記憶を見ると皆さんの宇宙は、私達が考えていたような状態ではなかったという事がよくわかりました。

そして皆さんの宇宙だけではなく、他の宇宙に対しても光の創造主の働きよりも闇の創造主の働きが大きく勝り、そして宇宙は混乱したものになっているという事もわかりました。

これは闇の働きをする創造主が、私達が思っている以上に力を持って光の創造主がおこなう宇宙の運営を協力する事なく独断で動いてしまった結果だと私達は思います。

光の創造主も闇の働きをする創造主もお互いのルールを遵守しなければならないはずなのに闇の創造主達が非常に勝手に動き回っている。

そのためにこの宇宙のバランスは壊れてしまっているという事なのです。

しかしながら、このままでは皆さんの宇宙のアセンションがうまくいかないという事は目に見えています。

そのために一時的にはありますがこのアセンションが完了する間、皆さんが言われたように光の創造主やスターピープル達が物理世界に介入する事を認めましょう。」

そう言うと第 30 評議会の創造主は私達の前から姿を消しました。

しかしながら第 30 評議会の創造主がアセンションの間だけとはいえ、そのようなルールを認めてくれた事は非常に私達にとってはありがたい事です。

私達はこれ以上自分の家族を危険にさらす事もしたくありませんし、また監査の創造主が言うように、この地球に新しい創造主が必要であるならばその創造主を産み出すための努力をしなければなりません。

しかしながらそれを行う事はダークピープル達からもさらに強力な攻撃を受ける事になりますので、創造主やスターピープル達が私達の物理世界で守護を強めてくれないことには私達はアセンションの活動が今まで以上に困難になるのです。

第7章「すべての闇の源となる創造主」の結末

PART1 光と闇の創造主の争いによって生まれたブラックホール

第30評議会の創造主が私達の物理世界を見て、創造主やスターピープル達が物理世界に介入する事を認めてくれた事を私達はとても嬉しく思っています。

しかしながら第30評議会の創造主が頑ななまでに宇宙のルールを守ると言った理由が私にはよく分かりませんでしたのでその事を第30評議会の創造主に尋ねてみる事にしました。

「偉大なる第30評議会の創造主よ、あなたの計らいのおかげで私達の物理世界は少しずつ良い方向に向かって行っているようです。

しかしながら、あなたが何故そこまで創造主のルールにこだわるのかという事を私達に教えていただければ嬉しく思います。」

「TAKESHIさん、この事はほとんどの創造主が知らない事ですが、この創造主の世界のルールというのは厳正に守らなければならないのです。

その一つは、創造主が物理世界を創造したとしても、物理世界に生きる人々や物理世界に生きる多くの生命等に深く関わってはいけないという事です。

もし創造主がそのルールを破れば、物理世界に生きる人々や種族達はいとも簡単にコントロールされてしまいます。

また創造主によって、物理世界の発展が歪められてしまう可能性があるからです。

そして創造主のルールというのはそれだけではありません。

創造された世界に適正な光の量を降ろすという事も大切なルールです。

私達は光と闇のエネルギーを持っています。本来この二つのエネルギーは対立するものではなく、お互いを支えあって運営されていくものです。

物理世界の創造には光のエネルギーも闇のエネルギーも必要です。

その 2 つのエネルギーが適切にもたらされる事によって素晴らしい宇宙の創造と発展がなされるのです。

たとえ、その宇宙に特別な事情があったとしても、この適切に決められた光の量と闇の量を変える事は認めていません。

しかしながら今回皆さんの宇宙を見るならば、私達が決めた適切な光の量と闇の量が大きく崩されていたという事に気づきました。これはとても大きな問題なのです。

しかしながらそのために急に光の量を増やすという事はしてはいけない事なのです。なぜならそれを行う事によって光のエネルギーと闇のエネルギーがぶつかり合って大きな問題を起こす可能性があるからなのです。

私はよく下の創造主に対して、闇の創造主の挑発に乗らないようにという事を言ってきました。

闇の創造主は、皆さんの宇宙の光の創造主を鍛えるためだと言いながら様々な事を行っています。

それは皆さんの宇宙だけではなく他の宇宙でも同じ事です。

しかしながら光の創造主がその言葉に挑発されて対抗してしまい光のエネルギーをたくさん降ろし、物理世界に介入する事によって光と闇のエネルギーの衝突が起こり、その物理世界が壊滅してしまう可能性もあるのです。」

私はその事を聞いて驚きました。

私はこの闇の多い地球に生きてきたために、とにかく光を増やそう光を増やそうという事ばかり考えていたのですが、その事が物理世界を破壊してしまうような事に繋がっていく可能性があるという事に驚いたのです。

「創造主よ、そういった事は今までに何度も起きていたのですか。

光と闇のぶつかり合いによって物理世界が破壊されるような事は、本当はあってはならない事だと私も思っています。」

「もちろんです。

いくつもの宇宙の中で、光と闇のエネルギーがぶつかり合って世界が崩壊してしまった事が何度も起こりました。

そしてそれは物理世界だけでなく、この創造主の世界を巻き込んだ大きな爆発という事も過去に起こったのです。

それは光の創造主と闇の創造主が競い合っ、お互いのエネルギーを宇宙の中に満たそうとしていた時の事でした。

まだ私達も若く、そして自信に満ち溢れていました。

そのために光の創造主も闇の働きをする創造主もお互いに負けたくないと思い、光と闇

のエネルギーを過度に宇宙の中に入れ込んでいったのです。

そしてそれは物理的な宇宙を超えて、スピリチュアルな宇宙、そしていくつもの宇宙を巻き込んだエネルギーの争いとなりました。

そしてその結果多くの宇宙が一瞬のうちに大爆発を起こしてしまい大きなブラックホールを作ってしまったのです。

いくつかの宇宙と創造主がそのブラックホールに飲み込まれて消えていきました。

光の創造主も闇の創造主も同じようにブラックホールに飲み込まれていったのです。

そして他の宇宙もそのブラックホールに引き寄せられるようにして飲み込まれて行きました。

またブラックホールに飲み込まれなくても、宇宙のエネルギーを大きく崩してしまった宇宙もたくさんありました。

それは本当に古い時代の物語ですので、今の創造主の中でその事を知っている者はほとんどいません。

そしてかろうじて生き残った数名の創造主達だけがその事を知っているのです。」

私は、第 30 評議会の創造主がこの事を思い出して辛い気持ちになっている事は分かりましたが、続けて聞きました。

「そのブラックホールに巻き込まれた宇宙やブラックホールの中に飲み込まれてしまった創造主達の処理はどうかされたのですか。」

「今の第 31 評議会から上の評議会の創造者の皆様がその処理を行ってくださいました。

ブラックホールのエネルギーを長い時間をかけて消しさりました。

そしてブラックホールの影響を受けた宇宙のエネルギーも修正してくださいました。

その事が終了した後に現在の第 31 から第 35 評議会の創造者の皆様が話をして、新しい創造主達を生み出してくれたのです。

そしてその時に決まったのがこの創造主のルールと呼ばれるものなのです。

皆さんに何度もお伝えしているように、光の創造主と闇の創造主が争ってはいけません。

その宇宙やその世界に見合わない量のエネルギーをおろしてはいけません。

創造主達が物理世界に関わってはいけません。というようなルールがいくつも作られました。

そしてその事を遵守する事によって、私達の宇宙は前回体験した宇宙の大爆発とブラックホールを再び引き起こす事なく過ごしてきたのです。

しかしながらこのルールが破られると、またいつこの宇宙の大爆発やブラックホールが起こるか予想もつきません。

そのために皆さんが提案したルールも私は申し訳ないが却下させて頂いていたのです。」

「そうですか、そのような理由があったとは知らず、私達は大変失礼な事をいたしました。しかしながら現在の闇の創造主の働きを見るとこのルールに大きく違反しているように思いますが、どのように考えられますか。」と私はたずねました。

「あなたの記憶を見させて頂いた限りでは、闇の働きをする創造主がこのルールを守っていないという事がよくわかりました。

この事に関して一番の問題は「第 30 評議会の闇の創造主」です。

彼は闇の創造主を生み出し、また統括する立場にあります。

しかしながら彼が創造主を鍛えるためだと言いながら、闇の創造主を強化し、闇の創造主がこの創造主のルールを破って皆さんの宇宙に関わっている事に対して私は大変大きな心配をしております。

おそらく、彼は、皆さんの宇宙だけでなく、多くの宇宙に対しても同じような事をしている可能性があります。

このままでは皆さんの宇宙だけでなく、多くの宇宙が闇の多い宇宙になってしまう事でしょう。

しかし、その事を是正するために私達が光のエネルギーを大量に降ろしたならば、あの時の大爆発とは言わないまでも、皆さんの宇宙の物理世界が崩壊してしまう可能性もあります。

その事を考えながら光を少しずつ増やし、皆さんの宇宙を是正していかなければならないと思います。」

第 30 評議会の創造主は、闇の創造主が行った事に対してかなり大きなショックを受けているようです。

「それでは第 30 評議会の闇の創造主に対してはどのようにされますか。」

と私は尋ねました。

「彼は「すべての闇の源となる創造主」という名前の創造主です。

彼に対する対応に関しては、私の一存では答えられない事です。

上の評議会の創造主とも相談しなければなりません、「すべての闇の源となる創造主」が行なっている事は明らかにルール違反なので、その事は私の方から彼に対して説明を求め、またそういう事をしないように注意を行いたいと思います。」

私達と第 30 評議会の創造主の話はこれで終わりました。

しかしながら第 30 評議会の創造主が、私達が考えもつかないほどの多くの苦しみを持ちながら、多く宇宙と創造主達を見守っていたのだという事が私には痛いほどわかります。

PART2 第 30 評議会の闇の創造主の企て

私達の宇宙では創造主とスターピープル達がひとつになって私達の宇宙の立て直しを行っています。

第 30 評議会の闇の創造主やダークピープル達が行った事に関しては、物理次元に介入してその修復を行ってもよいという許可が出ましたので、創造主やスターピープル達は私達の宇宙の修復を行う事になりました。

第 30 評議会の創造主からも少しずつではありますが、今までよりも強い光が降ろされてきたのでスターピープルや光の創造主達も今まで以上にその力と能力を強め、闇の創造主が行った問題を修復していく事ができるようになりました。

今まではまだ光 40%台の世界では、闇の創造主達やダークピープル達の力が強かった

ので、スターピープル達や光の創造主達は自分達が思った事が全くできないでいました。

しかし、第 30 評議会の創造主からも光 40%台の世界に光のバランスが壊れない程度にスターピープルや光の創造主達も介入してもよいという許可も得ましたので、光 40%台の世界にも少しずつ光が差し込み、これからアセンションを求める人達に対してスターピープル達が物理世界でも援助ができるようになってきました。

しかしながら、私達の家は状況はあまり変わりません。

私達も家族全員が咳き込んだり、子供達が泣き止まないでネガティブなエネルギーに翻弄されるような日々がまだ続いています。

そのような時どうしても私達の家の中のネガティブなエネルギーが払拭されないので、天照大御神やスターピープル達が私達の家を調べていました。

そうすると一か所不思議なゲートが見つかりました。

そこから新しいタイプのダークピープル達が出入りしているのです。

監査の創造主が不思議がって言いました。

「TAKESHI さんの家はスターピープル達がしっかり守っているのに、新しいゲートを作るという事は創造主の力をもってしなければできない事なのですが、なぜここに新しいゲートが作られてダークピープル達が出入りしているのか不思議です。」

私は「流れを作る創造主」を呼んでこのゲートが作られた時の事を私達に見せてもらうようにお願いしました。

そうすると数名の光の創造主がこの家にゲートを作っている様子が映し出されました。

監査の創造主が驚いています。

「光の創造主がなぜ TAKESHI さんの家にゲートを作り、そこからダークピープル達が侵入しているのだろうか。

これは光の創造主をすぐに調べなければいけません。」

そう言ってそこに映し出された第 3 評議会の創造主達のもとに監査の創造主はすぐに走って行きました。

私達も監査の創造主とともにこの第 3 評議会の創造主の前に着きました。

私は第 3 評議会の創造主に向かって尋ねました。

「あなた方はなぜ私の家に新たなゲート作り、そこからダークピープル達が侵入するようにしたのですか。

そのような事は光の創造主の中ではもう禁止されているはずで

特にまもなくアセンションを迎えるという時に、私達に闇の多い世界のゲートつなぐという事は一体どういう事ですか。」

そうすると第 3 評議会の創造主の 1 人が答えました。

「私達は、地球がアセンションする時期はまだ早いと考えています。

そして闇が多い世界にも光の世界に行く予定の人達がたくさんいるので、その人達をもっと助け出さなければならないと考えています。」

これは闇の創造主達が第 3 評議会の創造主を洗脳したのでしょう。

アセンションを妨害する創造主達は、皆同じような理論によって、光の多い世界に闇の多い世界のゲートをつなぎ、闇のエネルギーを流し込んでアセンションを妨害しているのです。

監査の創造主がすぐにこの第 3 評議会の創造主とどの闇の創造主が接触したのかを調べています。

もうすでに「宇宙を侵略する創造主」や「多彩な機能を持つ創造主」も力を失い、私達の宇宙から隔離されているので、考えられるとすればあの第 30 評議会の闇の創造主である事に間違いはないようです。

監査の創造主もこの第 3 評議会の創造主のエネルギーを調べて、第 30 章評議会の創造主が第 3 評議会の創造主をマインドコントロールしていたという事がわかりました。

私達の宇宙の創造主は、去年新しく作り変えられたばかりですので、皆さんがまだまだ若い創造主です。

この創造主達をコントロールする事は闇の創造主であれば簡単にできる事なのです。しかしながら創造主をコントロールするという事は創造主のルールにも大きく反する事なのです。

私は第 30 評議会の創造主にこの事を伝えるに行きました。

もちろん監査の創造主からももうすでに第 30 評議会の創造主にこの事が伝えられていたようです。

私が出向いていくと第 30 評議会の創造主だけでなく第 31 評議会の創造主がすでに第 30 評議会の闇の創造主である「すべての闇の源となる創造主」に対して説得を行っていました。

第31評議会の創造主というのは、光も闇もない全てが一つになった創造主です。

この第31評議会の創造主から新しい創造主達の多くが生まれ出されたのです。

第31評議会の創造主は「すべての闇の源となる創造主」に対してこのように言っています。

「あなたが行なっている事は創造主のルールに大きく反する事ばかりです。

一つの宇宙に適正ではない闇のエネルギーを流し込み、その宇宙のバランスを大きく崩しました。

そして闇の創造主の力を強化する事によって、光の創造主と闇の創造主の間に大きな争いや支配を生み出す事で光の創造主達の成長を妨げました。

また創造主達をコントロールする事によって、創造主が行っている仕事に大きな支障をきたし、この宇宙の正常な発展を乱して行ったのです。

私はあなたに対して、創造主の力を削減し、これからは闇の創造主達とあなたが接触できないようにしたいと考えています。」

第31評議会の創造主の言葉に対して第30評議会の「すべての闇の源となる創造主」は様々な弁解や自分の主張を行っているようです。

自分はいくまでも光の創造主を鍛えるためにおこなった事、そして光の創造主が様々な事柄に柔軟に対応しもっと幅広い創造ができるように自分は鍛えていたのだという事を言っています。

PART3 創造主の力を奪われる「すべての闇の源となる創造主」

私は その様子を見ていたのですが、突然私の内なる声が第 31 評議会の創造主に対して、私が発言しても良いかと尋ねました。第 31 評議会の創造主は私を見て頷き、「どうぞあなたがお話ししたい事があるのならば話されてください。」と言いました。

私は、心の中で第 31 評議会の創造主に語りかけます。

「私は今まで地球の物理世界から一つ一つ創造主達の評議会の世界を上がってきました。

第 1 評議会、第 2 評議会、第 3 評議会、そしてその間に様々な創造主達が闇の創造主によってコントロールされ支配されてきたのを見てきたのです。

光の創造主は闇の創造主によって力を失っていました。

闇の創造主が行う物理世界の支配について、それを覆すだけの力を光の創造主は持っていなかったのです。

そのために地球の物理世界はとても闇が多い世界となりました。

人々が殺し合ったり奪い合ったりしていました。

そして地球の生態系も大変危険な状態になってしまいました。

物理世界に関わる第 1 評議会から第 3 評議会、第 4 評議会の世界では、光の創造主達は本当に力が弱かったのです。

そして、光の創造主と思われていた創造主が、裏で闇の創造主と同じ様な事をしていたのです。

彼らがやっている事は、人々のスピリットを捕えて人々を支配したり、多くの優秀なスターピープル達を捕え自由に活動できないように闇の世界に閉じ込めていました。

闇に取りつかれた創造主は、自分達が宇宙を支配したいがために、物理世界にいる地球人だけでなく光の創造主やスターピープルに対しても意識をコントロールしたり、その光を奪ったりしていたのです。

今第 30 評議会の闇の創造主の言葉を聞くと、多くの闇の働きをする創造主達が、この創造主と同じように、「これは創造主を鍛えるため、物理世界の人達を鍛えるためだ」と言いながら、人間達のスピリットを奪ったり物理世界に生み出された創造主のスピリットを持つ人間の命を奪ったりしていたのです。

私も、闇の創造主の企みによって命を失いかけてました。

私達はその時から、「光の創造主を鍛えるため、物理世界の人達を鍛えるため」という言い分は嘘だという事が分かっていました。

そのような事を行った創造主を問いただしていくと、最後には、彼らは自分の力でこの宇宙を創造したかった、自分の力でこの宇宙を支配したかったという事を私達に言ったのです。

これはまだ次元が低い物理世界の創造主達だけかと思い、私達はさらに第 5 評議会、第 6 評議会そして時間をかけて第 20 評議会以上の創造主の元まで行きました。

高次元の世界に存在する創造主達は、とても光が強く多くの世界を見守り運営していく力と能力を持っていますので、創造主達は本

当に素晴らしい存在であると私は信頼していました。

しかし、私の期待は見事に裏切られました。評議会が高くなればなるほど、闇の働きをする創造主だけでなく光の創造主を指導する立場にあった創造主さえもが、自らの闇に溺れ狂気に満ちた闇の創造主へと変わっていったのです。

そして創造主とは到底思えないような事を行ったりしていました。

それは、創造主としてのルールを大きく逸脱するだけでなく、同じ評議会の創造主をコントロールして自分達の思いのままに操り、多くの創造主に解決できないほどに大きな障害を与え、創造主の成長を妨げていたのです。

それは第 20 評議会以上の高次元の創造主においても同じ事でした。

「宇宙を侵略する創造主」や「多彩な機能も創造主」達も、全て第 30 評議会の闇の創造主である「すべての闇の源となる創造主」によって力を与えられましたが、力を与えられたがために、自分の力に溺れてしまい、この宇宙を支配したいと考えてしまったのです。

私はその全ての責任はこの第 30 評議会の闇の創造主にあると考えています。

この闇の創造主は光の創造主に対して大きな抑圧や支配を行っただけでなく、自分が生み出した闇の創造主に対してその闇の力を強化する事で、多くの「闇の働きをする創造主」を狂気に満ちた「闇の創造主」へと変えてしまったのです。

それは私達の宇宙だけで起きた事ではなく、この第 30 評議会の闇の創造主が関わる全

ての宇宙で行われているのではないかと考えています。

私はこの第 30 評議会の闇の創造主が、創造主の権限を持ったままであれば、このような悲劇は終わらないと思います。

そしてまたあなたがたが危惧しているように光の創造主と闇の創造主が大きな争いを行い、かつてのような宇宙を飲み込んでしまうほどの大爆発とブラックホールが起こる可能性もあるかと思っています。

もしかしたら第 30 評議会の闇の創造主はその事を計画しているのかもしれませんが。

私はここで第 30 評議会の闇の創造主に対して、創造主の権限をすべて奪い去り、全ての宇宙の闇の働きをする創造主に対して一切の権力や支配力を持たないようにしたほうが賢明だと思っています。

そうしなければ「多彩の機能を持つ創造主」や「宇宙を侵略する創造主」のような創造主がたくさん現れ、この世界がブラックホールに巻き込まれる可能性もあるからです。」

私の話を聞いていた第 31 評議会の創造主はしばらく考えていました。

私と第 30 評議会の闇の創造主を交互に見ながら物事の真実を見極めていたようです。

第 31 評議会の創造主が口を開きました
「わかりました。

第 30 評議会の創造主に対しては全ての創造主の権限を剥奪する事とします。

そして創造主の力を持たない1人の存在としてどこかの宇宙で存在してもらう事にします。」

第 31 評議会の創造主は続けて言いました。

「TAKESHI さん達がおっしゃるようにこの第 30 評議会の創造主を創造主として残したままにしておく、やがて大きな混乱が今後起こる事も予想されます。

よって第 30 評議会の闇の創造主である「すべての闇の源となる創造主」は一切の創造主の権限を失う事とします。

そして彼につながる闇の創造主達も全てクリアリングを行い、第 30 評議会の闇の創造主のエネルギーや遺伝子を抜き取るようにします。」

第 30 評議会の創造主が、「わかりました。」と頭を下げていました。

私は一体、私の内側からどうしてこのような言葉が出てきたのかわかりませんでした。私のその思いを見て、監査の創造主が言いました。

「これは私達の最も高次元の監査の創造主があなたを通して話をした事です。」と私達に笑いかけてくれました。

第 30 評議会の「すべての闇の源となる創造主」の力が私達の光の創造主や闇の働きをする創造主から払拭され、この物理世界からもその力が少しずつではありますが抜き出されて行きました。

3月21日、その時を境としてこの地球を含む私達の宇宙から第 30 評議会の闇の創造主の力が抜き取られ適正な光と闇のバランスを持った宇宙へと変わりつつあります。

第8章 狼騎士団の遺伝子を持つハンター

PART1 人々のスピリットを奪っていたハンター

そしてそのような中、一人の方のセッションを行っていました。

その方のご家族は何か悪い霊に取り憑かれたような感じで体調が悪くなっている事や自分の娘がしっかりとした生き方ができていないという悩みを持っていらっしまったのです。

その方達を見てみるとまるで狐に憑かれたようなとてもネガティブなエネルギーがその方の周りに渦巻いていました。

私達は、「大天使ミカエルの破邪の剣」を使用してそのエネルギーを払拭して行きました。

そうすると一人の見た事もないダークピープルの姿が見えてきたのです。

それは私達が3日ほど前に「ジュピター」という映画を見た時、その映画に出てくる狼の遺伝子を持った非常に探査能力が優れたハンターとよばれている存在によく似ていました。

とても精悍な顔つきでがっしりとした体格をしています。

そして闇の世界でもしっかりと見通せるような鋭い眼光を持っています。

すぐにスターピープル達にこの者を捕えて調べてもらいました。

するとこのダークピープルは狼騎士団や探査能力に優れたスターピープル達の遺伝子とダークピープル達の遺伝子を組み合わせで作られた存在のようです。

狼騎士団は私達のスターピープルの中でも非常に探査能力に優れているスターピープルです。

鼻で匂いを感じる能力も当然ながら闇の世界でも見通す目、そして全ての存在達の裏側を見極めるようなとても特別な能力を持っています。

どうやらこの狼騎士団の遺伝子が主にこの存在に使われているようです。

そしてそれだけでなく異なる能力を持ったスターピープルとダークピープルの遺伝子が組み合わせられています。

この存在は「紫ピラミッド」によって生み出されましたが、スターピープルとしての意識が強かったために、意識のコントロールを受けて、彼らの手先として使われていたようです。

スターピープル達がこのダークピープルが何をしていたのかと調べたところ大変な事がわかりました。

「TAKESHI さんこの新しく見つかったダークピープル達は多くの人々のスピリットを奪い去る仕事していたようです。

とても物理次元に近いところに存在していて多くの人達のスピリットや魂を奪い取り、その者達が「紫ピラミッド」によってコントロールされるように仕組んでいたようです。

彼らの存在している場所があまりにも物理世界に近く、彼らは闇の中に姿を隠すのが上

手なので私達スターピープルもこのような存在がいるとは全く気づきませんでした。しかしながらこのような存在がいたからこそ、今まであれだけ多くの人達のスピリットが捕らえられていたという事が理解できました。」

「それは大変な事です。おそらくこの存在は1人ではないでしょうからこのダークピープルのエネルギーを使って世界中に散らばっている同じような存在達を見つけてください。」と私はスターピープル達にお願いしました。

どうやら第30評議会の闇の創造主が力を失い、この現実世界を覆っていた闇が少なくなってきたので、彼らの存在が明るみに出てきたようです。

スターピープル達は大天使や明王などにも手伝ってもらい急いでこの存在を探しに行きました。

私は「ジュピター」の映画にちなんでこの存在の事をハンターと呼ぶ事にしました。まさに地球の人々の魂を奪うハンターさながらなのです。

しばらくするとスターピープルから報告がありました。

「TAKESHIさん、ハンター達は大変な人数です。

どうやら「紫ピラミッド」が持っていた全てを複製する機械によって一つの原型からたくさんのクローンが作り出され、世界中に配置されていたようです。」

私達は創造主とも話し合っってこのハンターのための収容所を何箇所も作り、その中にこのハンター達を収容する事にしました。

おそらく地球上にこのハンターは散らばっているなので収容所も大変な数になるかと思っています。

私は彼らの探査能力はとても素晴らしいので、ある事を思いつきました。

「スターピープルと創造主よ、このハンター達は元々狼騎士団やスターピープルの遺伝子を使って作られたようです。

もちろんダークピープルの遺伝子も入っていますので「紫ピラミッド」からこのようにコントロールをされやすくなっているかと思っています。

このハンター達のマインドコントロールを解いて、ダークピープル達の遺伝子を不活性化にし、スターピープルの遺伝子を活性化すれば、私達の仲間として使えるのではないですか。

彼らは現実的な世界を見る事に対して非常に素晴らしい能力を持っているようですので、私達のスターピープル等ではわからない事がハンター達によってわかるようになるのではないかと思っています。」

エレナさんがすぐに調べて報告してくれました。

「TAKESHIさん、私もスターピープル達から報告を受けましたが、TAKESHIさんがおっしゃるように、このハンター達は本当に大変な数です。

このハンター達のマインドコントロールを解き放ち、スターピープルである私達と一緒に働かせる事ができれば、地球のアセンションや地球の人達を解放するためにはとても大きな戦力になると思います。

地球の人達のスピリットはその多くを彼らが捕えていますので、彼らが仲間になれば捕らえられている場所もすぐに分かりそのスピリットを解放する事ができます。

そして彼らは物理世界の事をよく知っていますので「紫ピラミッド」の罠を次々と見破る事ができるでしょう。」

私は第 26 評議会の創造主と物理世界の創造主に対してその事の許可を求めました。

「もちろんです。

それは彼らを救う事にもなりますし、彼らによって奪われたスピリットを地球人に返してあげなければアセンションがうまくいく事はないでしょう。」

第 1 評議会から第 3 評議会までのスターピープル達は、グループを作ってこのハンター達のマインドコントロールを解く仕事を行う事になりました。

そして創造主はこのハンター達のスターピープルの遺伝子を活性化しダークピープルの遺伝子を不活性化してスターピープル見習いとして第 1 評議会の各グループの中に所属させる事にしました。

私は狼騎士団のリーダーを呼び寄せました。

「今回見つかったこのハンター達には狼騎士団の遺伝子がたくさん使われているようですが、あなた方にその覚えはありませんか。」

狼騎士団のリーダーはこのように言いました。

「私達もこのハンターが発見されてから、これは私達の遺伝子を利用して作られた存在であるという事がすぐにわかりました。

調べてみたところ狼騎士団の中でもリーダー格の1人がかつて行方不明になった事があります。

おそらくそのリーダーの1人が捕らえられて、その遺伝子からこのハンターは生まれたのだと思います。

私は TAKESHI さんにお願ひがあります。このハンター達は私達の遺伝子を使って作られた存在ですので、私達の子孫のような存在でもあります。

どうかこの者達の管理に私達を加えてもらう事はできませんでしょうか。」

「狼騎士団よ、このハンター達を指導するのはあなた方以外にはないと思います。

他のスターピープル達と協力し合って、このハンター達をあなた方のように正義感が強くそして素晴らしいスターピープルに育ててあげてください。」

狼騎士団のリーダーは頭を下げて私の元から立ち去りました。

その後、狼騎士団は組織だってこのハンター達の教育に携わる事になりました。

狼騎士団としては自分達の遺伝子によって作られた存在が地球の人々に対して大きな問題を引き起こした事を何とか解消したいと考えているようです。

PART2 生まれ変わったハンター達

マインドコントロールが終わったハンター達の中から、数名のハンター達が私達の元に連れてこられました。

狼騎士団の1人が私に言いました。

「このハンター達はとても優秀なハンター達です。

TAKESHI さん達の守護をしながら、TAKESHI さん達の活動を直接助ける事を志願してきましたので、TAKESHI さんの元にお連れしました。」

彼らは、発見された時と違って、鋭い眼光の中にも優しさと正義感が満ち溢れているようでした。

顔つきからも、狼騎士団特有のとても勇ましいプライドがうかがわれます。

私は新しく生まれ変わったハンター達に尋ねました。

「ハンター達よ、あなた方がわたし達の仲間になってくれた事をととても嬉しく思います。あなた方は相当な数作られ、そして「紫ピラミッド」によってマインドコントロールを行われていました。

そして、あなた達が本来なすべき事ではない事をさせられていました。

あなた方その事に対してどのように考えていますか。」

「私達は、本来狼騎士団の遺伝子を持って生まれた存在ですので、天の川銀河のスターピープル達と共に天の川銀河の種族達を守る事が私達の本来の務めだと考えています。

しかしながら私達がマインドコントロールを受けて地球人のスピリットを奪ったり、アセンションの妨害となるような事をしていた事に対して、私達は大きな苦しみと悲しみを持っています。

どうか皆さんの仕事を手伝わせていただく事によって私達が犯した罪をあがないたい

とっておりますので、私達を仲間にしてください。」

彼らが本気で自分達の犯した罪を償いたいと考えている気持ちが私達にも伝わってきました。

「分かりました。
ではどうか私達の仕事を手伝ってください。」
と私は伝えました。

ハンター達は私達の様子をしばらく観察していました。

そしてこのように言いました。

「TAKESHI さん、あなたがたの家とあなたがたに対して「紫ピラミッド」のコントロールが行われているようですので、その事についてお伝えしたいのですが、よろしいでしょうか。」

私は喜んで答えました。

「どうか教えてください。」

「まず TAKESHI さんと恵理さん、そしてご家族の体のチャクラの部分にととても大きなネガティブなエネルギーがつけられています。

これは皆さんがヒーリングなどを通してよくつけられているエネルギーですが、それが非常にかたくなにつけられています。

そのために、このチャクラについているエネルギーがあなたがたに対して体調不良や判断ミス等を引き起こし、アセンションの活動に対して大きな妨害を働いているのだと思います。」

さらにハンター達は続けて言いました。

「そして TAKESHI さんの家の下には強力な魔法陣が作られています。」

これは東洋の魔法と西洋の魔法が組み合わされたとても強力な魔法陣ですので通常のスターピープル等では打ち破れないと思います。

そしてこの魔方阵には闇の創造主の力が込められていますので、光の創造主の方々に手伝ってもらいこの魔法陣を打ち消した方が良いと思います。

この魔法陣は TAKESHI さんの家だけでなく、皆さんの会社のお店の下にも全て描かれ、闇のエネルギーを呼び込んでお店の状態をととても悪くしています。」

私は愕然としました。

私の家や店舗に描かれている魔法陣に今まで誰も気づかなかったのです。

私達が家に帰ると非常に食欲もなくなり、体調が悪くなっていたのもこの魔法陣のせいでした。

そしてアセンションの活動を始めてから、私達の会社が急に業績が悪くなり、優秀なスタッフが次々と辞めていきました。

新しく入った人達も 3 ヶ月ぐらいで急にやめたり、体調を崩していったのもこの魔方阵の影響がとても大きかったようです。

そして私達の店舗に通ってくれていたお客様の数も著しく減ってしまいました。

私は創造主と魔法使いそして大天使ラジエル達を呼んで、皆で協力してこの魔法陣を解消するようにお願いしました。

そして私や家族の体についているこの「紫ピラミッド」のネガティブなエネルギーも処理してもらおうようにお願いしました。

ハンター達は、大天使ミカエルやスターピープル達と協力してグループを作って活動しています。

ハンターは「紫ピラミッド」が物理世界に仕掛けた罠や彼らが行なった悪事を見破る力に非常に優れていますので、スターピープル達が今まで分からなかった事が分かるようになりました。

ただハンター達は「紫ピラミッド」からの攻撃を防御したり、そのような仕組みを解き放つ事はできないようですので、その事はグループを組んでいるスターピープル達が行う事になりました。

しかしハンター達が、私達の仲間になった事によって「紫ピラミッド」は大きな勢力を失った事になります。

物理世界で活動ができるハンター達は「紫ピラミッド」にとって大きな実行部隊だったのかもしれませんが。

今まで第 30 評議会の闇の創造主の力が地球の物理世界を覆っていたために、このハンター達の存在が全て隠されていたのです。

第 30 評議会の闇の創造主の闇の力が消えたことでハンター達の姿が浮き彫りにされてきました。

そうなってくるとまだ他にも「紫ピラミッド」が隠しているダークピープル達が存在しているかもしれません。

スターピープル達は注意をしながら、ハンター達と共に物理世界を見回る事になりました。

PART3 ダークハンター達

ハンター達が発見された 2 日後、私達にとっても強力なサイキックアタックが行われました。

私の肩に何者かが噛みついたような痛みです。

恵理さんに対しても同じような痛みが襲ってきました。

すぐにハンターに調べてもらおうと複数のダークピープルの姿が浮かび上がってきました。

すぐにスターピープル達がこのダークピープルを捕まえて調べると、この者達にも狼騎士団の遺伝子が使われていました。

しかし、ハンター達よりも凶暴で理性がない存在のようでした。

エレナさんがこの存在について私に報告してくれました。

「通常のハンターは狼騎士団を含めスターピープル達の遺伝子が入っていたので、「紫ピラミッド」は、彼らをマインドコントロールして使っていたのですが、この闇のハンターとも呼べる存在は狼騎士団の遺伝子よりもダークピープル達の遺伝子が強いので、人々を攻撃したりあるいは「紫ピラミッド」の手先となって人々を捕えたりする事が得意なような存在です。

この存在は非常に暴力的ですので、すぐに捕まえないと大変危険です。」

「おそらくこのダークハンター達も、あの機械でたくさんのクローンを作られているでしょうから、ハンター達とスターピープル達ですぐに捕まえてください。」

スターピープル達はハンター達が作られた施設をハンター達から教えてもらい、その施設に入り込み、その施設の情報からダークハンター達の所在を突き止め捕えていきました。

このダークハンター達はあまりにもダークピープル達の遺伝子が強いので、ハンター達のように私達の仲間にする事ができないようですが、人と一体化してないために光に返す事ができるようです。

私達は創造主にお願いしてこのダークハンターを見つけ次第光に返してもらいました。これによって地球人に対して攻撃的な行為をするダークピープル達がかなりの数減ったように思われます。

第9章 スターピープルの故郷に対する同時攻撃

PART1 スターピープルの故郷に対する同時攻撃

4月になってから、私達はアセンションブックをスマートフォンで読めるようにサイズの小さいファイルに作り直していました。ダークハンターが現われた日の夜、アセンションブックの試作品の一つである「白鳥座の六芒星の物語」を読んでいた恵理さんに一つのビジョンが浮かんできました。

ちょうど白鳥座のデネブと呼ばれるフェアリー達がたくさんいる星の事を書いた所を読んでいた時でした。

「TAKESHIさん、このデネブという星は確かフェアリー達がたくさんいる美しい星だったのじゃないかしら。

今私の心の中に見えるデブは荒れ果ててとても荒んでいるデネブです。

そしてフェアリー達がとってもたくさん傷ついている様子が見えるのです。」

私は何が起こったのだろうと思いました。

私が知っているデネブ星はとても美しくフェアリー達がたくさん住んでいる星だったのですが、その星に大きな異変が起きたのかもしれない。

私はエレナさんと呼び出して白鳥座のデネブ星に何か問題が起きていないか聞きました。

エレナさんはすぐに自分達の装置を使って
デネブ星を見ていました

「いえ、デネブ星はいつもと同じです。
美しい緑あふれる星ですが、どうかしたの
ですか。」

「恵理さんのビジョンの中にとっても荒れ果
てて、フェアリー達がたくさん傷ついている
デネブ星の姿が映ったので何かが起こって
いるのかなと私は思ったのです。」

エレナさんは少し考えているようです。

「ちょっと待ってください、もう一度調べま
す。」と言って恵理さんのビジョンに波長を
合わせました。

そして自分達の観察装置を調整しているよ
うです。

しばらくするとエレナさんが慌てています。

「TAKESHI さん大変です。

やはりデネブ星が何者かによって攻撃され
て悲惨な状態になっています。

私達の観察装置では異常がないように見え
るように操作されていた事がわかりました。
すぐに私達はデネブ星に入って救援を行
いたいと思います。」

そしてエレナさんはいく人かのスターピー
プル達に指示を出しているようです。

エレナさんは、他の星もその新しい調整をし
た観察装置によって試しています。

するとデネブ星だけでなくシリウス星やア
ンドロメダ座、プレアデス星団、アルクトウ
ールス星、そのような地球にサポートに来て
いるスターピープル達の故郷の星が一斉に
攻撃された事がわかりました。

スターピープルの多くに緊張と不安が広が
りました。

「TAKESHI さん、これは大変な事になっています。

デネブ星だけじゃなくシリウス星やアンドロメダ座など今地球に関わっている多くのスターピープル達の故郷が全て同じように攻撃されているのです。

これは誰かが意図的に行ったとしか思えません

私達はすぐに全評議会に緊急連絡を行い、できうるだけ多くのスターピープル達の種族に救援の要請を出します。

そして創造主とも相談してできうる限り早く救援を行いたいと思います。」

私は、監査の創造主を呼び出しました。

「監査の創造主、一体何が起きたのですか。多くの星々が一度に攻撃されたようですが、それはなぜですか。」

「TAKESHI さん、これは私達も全く予想もしていなかった事でしたので大変驚きました。

おそらくデネブ星やシリウス星、アンドロメダ座、アルクトゥールス星、そのような星から多くのスターピープル達が来て地球で働いています。

そして地球人として活躍しているスターピープル達の多くがこれらの星のスピリットを持っているのです。

そのためにこれらの星が攻撃を受け壊滅的な状態になるとそのスピリットに送られている光やエネルギーが失われてしまうので、その星のスターピープルやその星のスピリットを持って生まれた地球の人達が一斉にパワーやエネルギーを失ってしまうのです。

そうする事によって「紫ピラミッド」は地球のアセンションを妨害しようとしたようです。」

私は、その星とスターピープル達のスピリットの状態が大きく関係している事にも驚かされましたが、地球のアセンションのサポートに来てくれているスターピープル達の星が攻撃された事に対して、それぞれの星のスターピープルに対して大変申し訳ないと思いました。

監査の創造主は続けて言いました。

「おそらく第 30 評議会の闇の創造主が創造主としての力を奪われましたので、皆さんの宇宙に対して闇の力が弱まってきています。

そして第 30 評議会の闇の創造主が作り出した闇によって隠されていたハンターやダークハンター達も見つかってしまいました。

そうなると「紫ピラミッド」の敗北は明らかになりますので、その前に自分達が持っている全ての力を使ってそれらの星を攻撃したのだと思います。

しかしながら、彼らの力だけではこれほどまでに多くの星を同時に攻撃する事ができないので、どこかに闇の創造主が隠れている事も考えられますので私はその方を調べます。」
そして監査の創造主は消えていきました。

私は、これは天の川銀河のスターピープル達だけでは十分な救援ができないと思いましたので、アンドロメダ銀河そしてオリオン星雲そして私達の宇宙に関わる多くの宇宙のスターピープル達をこの天の川銀河に呼びました。

「どうかアンドロメダ銀河やオリオン星雲、そして私達の周りにある星雲や銀河のスターピープルよ、どうか私達を助けに来てください。

多くの星が同時に攻撃され、多くのスターピープル達が傷ついています。

どうか私達を助けに来てください。」

そうするとアンドロメダ銀河から昔懐かしい アールスター達もやって来てくれました。オリオン座からも昔私達が助けてあげた 5 エLEMENTのスターピープル達がシェンロン達と共にたくさん来てくれました。

そして、かつて私達が作った宇宙連合の仲間達もたくさんの宇宙船で助けに来てくれました。

しばらくはこの天の川銀河で起こった星々の一斉攻撃の修復に私達のスターピープルと創造主達はかかるようです。

しばらくしてエレナさんが私達に報告をしてくれました。

「TAKESHI さん、そして恵理さん本当にありがとうございます。

皆さんがデネブ星の異常をいち早く発見してくれたおかげで、私達はすぐにデネブ星や他の星々の修復に入る事ができました。

攻撃されていた星は、それだけでなくまだいくつもありましたが、救援に来てくれたスターピープル達にも手伝ってもらい傷ついたスターピープル達を救い出し、星の修復を行っています。

そして昨日 TAKESHI さん達がダークピープル達の攻撃による被害に関して、スターピープルや創造主は現実世界に関わっても良いというルールを新たに作ってくださった

おかげで創造主達が真っ先になってこの修復に当たってくれました。

もしこのルールがなければ私達の修復はかなり手間取ったものとなっていた事でしょう。

しかしながらこのルール変更が行なわれたおかげで星々の被害は最低限度に抑えられました。

もちろん犠牲になった者達も少なからずいましたが、スピリット体である命に関しては救出が早かったために助ける事ができました。

本当にありがとうございます。

私達はしばらくこの復旧にかかりますが創造主達が私達と共に働いてくれているおかげで通常よりも早く復旧ができそうです。」
そう言ってエレナさん達はまた自分の活動へと戻ってきました。

PART2 闇の創造主の関わり

その後、この事件に関わった創造主の事を調べていた監査の創造主も戻ってきました。

「TAKESHI さん、やはりこの件には闇の創造主が関わっていました。

それも皆さんとは異なる宇宙に存在している闇の創造主です。

「紫ピラミッド」のダークピープル達があらかじめ、その創造主と打ち合わせを行っていたようです。

そしてその裏では第 30 評議会の闇の創造主が指図を行っていたようです。

第 30 評議会の闇の創造主は、もし自分が光に返されたりあるいは創造主としての権限を失ってしまったら、「紫ピラミッド」も窮地に陥るからその時にこの別の宇宙の闇の創造主と協力して、天の川銀河のいくつもの星を攻撃するような計画をあらかじめ立てていたようです。

そして第 30 評議会の闇の創造主が創造主としての権限を失った直後に、多くの星への同時攻撃は実行されたようです。

幸い皆さんの発見が早かったために思ったよりかは被害が少なかったようです。

しかしこのように地球のグループが天の川銀河のいくつもの星をターゲットにして創造主と協力して攻撃を行うという事は今まではありませんでした。

私はすぐにこの攻撃を行った創造主を捕まえて厳しく処罰しました。

そして私達監査の創造主達の間で「紫ピラミッド」に対してどのような処置を行うかという事を話し合いました。」

私はすぐに、「紫ピラミッド」の処置はどうするのですか。と聞き返しました。

「監査の創造主の方針では、「紫ピラミッド」を解体し、この光 40% 台の世界においても彼らが活躍できないようにする事が決まりました。

そして戦闘的な考えを持つ「紫ピラミッド」のリーダー達は全て拘束して自由に行動できないようにしてあります。

また他のメンバー達も捕えて取り調べを行い、地球人ごと地球の光 30% 台の世界に送られる者達もたくさん出る事と想われます。」

「監査の創造主よ、本当にご苦労様でした。やはりこの件には闇の創造主が関わっていたという事だったのですね。

しかしながら第 30 評議会の闇の創造主はどこまで性格が悪いと言うか自分勝手な考えを持っている創造主なのでしょうか、やはりあの時、創造主としての権利を全て奪っていた方が今後の事を考えると良かったと思います。」

「もちろんです。

このまま第 30 評議会の闇の創造主を残していたのでは、やがてこの地球のみならず天の川銀河を壊滅させる可能性も十分にありました。

あなたが監査の創造主を代表して、あのような意見を述べてくれたおかげで第 30 評議会の闇の創造主は創造主としての権利を奪われましたのでこれ以上大きな問題を起こす事はできないと思います。

しかしながらエレナさんも言っていたように、第 30 評議会の創造主が創造主のルールを変更する事を認めてくれたおかげで、これだけの攻撃があったとしても最小限の被害で抑えられたのは不幸中の幸いでした。

これに関しても創造主達は皆 TAKESHI さん達に感謝しております。」

そのように言うと監査の創造主も自分の仕事に戻っていきました。

第11章 「紫ピラミッド」の 解体

PART 1 「紫ピラミッド」の本当のリーダー

しかしながらその日の夜思いがけない事が起こりました。

それは「紫ピラミッド」の本当のリーダーである闇のマスターが私達の前に突然現れたのです。

私達はすぐに警戒して監査の創造主やスターピープル達を呼び寄せ、私達がこの「紫ピラミッド」のリーダーと直接接する事がないように防御を固めてもらいました。

しかしながら彼のエネルギーはとても強くそのような防御を突破して恵理さんの胸の中に直接メッセージを伝えてきました。

「あなた方はなぜ私達が作ったこの完璧なシステムである「紫ピラミッド」を壊そうとするのですか。

この地球は私達「紫ピラミッド」の者達が育てそして統治してきたのです。

この非常に完璧で揺るぎないシステムによって地球は発展してきたのです。

それをあなた方は破壊し、そして今「紫ピラミッド」さえも解体しようとしています。

それはこの地球にとって大変な暴挙となるのではないのでしょうか。」

私は「紫ピラミッド」のリーダーのあまりにも一方的な考え方に言葉を失ってしまいました

しばらくの間、「紫ピラミッド」のリーダーは自分達がどれだけ正しいのか、そして自分達がやってきた事が地球にとって素晴らしい成長や発展をとげてきたという事を力説しています。

私はようやく「紫ピラミッド」のリーダーに反論する事にしました。

「しかしながら「紫ピラミッド」のリーダーよ、あなた方の支配は多くの者達の自由と生命を奪い続けてきました。

スターピープルやそして地球の人達を自分達が都合の良いようにコントロールするために、そのスピリットを捕え洗脳してきました。

その様なシステムは人々の尊厳を奪い、皆さんの自己中心的な支配を行うためだけのものです。

それは完璧なシステムではなく、暴力的な支配です。

それは創造主が決めたルールにも違反しますので、解体する事に関して、同情する余地さえありません。

私達はこの地球をアセンションさせるためにあなたがたが行った様々な仕組みや罠を明らかにし、そこから地球の人々解き明かす解き放つ必要があったのです。」

「紫ピラミッド」のリーダーは続けて言いました。

「それは仕方がない事でしょう。しかしながら私達が行っている事を多くの人達に公開しないでください。あなた方はアセンションして私達の世界を出て行く事になりますが、私達が行った事を書いた文章を公に見る事ができるような形

で残されたのでは、私達の世界にいる人達も動揺してしまいます。

そして私達の事を信頼できなくなりますので、アセンションブックの公開などは一切やめていただきたいと考えています。」

私はしばらく考えました。

以前もそのようなやり取りがあって、私達に対するサイキック攻撃を行わないなら、アセンションブックの発行を中止するという約束をした事があったのですが、私達がアセンションブックの発行を中止していたにもかかわらずサイキックアタックはなくならなかったのです。

「私は皆さんのやり方や行ってきた事を明らかにする事で、地球の人々が本当の真実に目覚めそしてあなた方から解放される事を願って書いています。

あなたがたがもし完璧で素晴らしい秩序を自分達で作ったと言うのであれば、それを公開される事に対して何ら異議はないはずで

す。

あなた方にとっては地球人に隠しておかなければならない事実、そしてあなた方が地球人やスターピープルに対して行なった非道な行いを明らかにされると困るというのは、あなた方が間違えた事をしてきたからに他ならないのです。」と私は答えました。

「それも私達のやり方です。

私達に従わないものを捕え罰する事によって、この地球は完璧な秩序を保ってきたのです。

そうしなければ、この地球は崩壊していたかもしれないのです。」

「いえ、あなた方がやってきた事はただの残酷なそして非道な支配です。光を持った者達やスターピープル達の光を奪いそしてそれを原動力として生きてきた事自体がもうすでにこれからの時代にはそぐわなくなっているのです。」

「私はあなたに警告します。これ以上、私達の事を解体したり、私達のことを公開する事をしないでください。それは私達にとってもそしてあなたにとっても不都合な事になります。」

これも「紫ピラミッド」特有の脅しかもしれません。私達はいくら話をしていても目的がすでに違うのでお互いが歩み寄る事はないでしょう。私は監査の創造主にこの「紫ピラミッド」のリーダーの件をお任せする事にしました。監査の創造主は「紫ピラミッド」のリーダーを捕え、そして今回いくつもの星々への同時攻撃を行った事について取り調べを行うようです。

PART2 暗殺者達の攻撃

そして翌日、私達に「紫ピラミッド」からの強烈なサイキックアタックが起こりました。私が「からだ・はうす」で仕事をしていた時の事です。

1人のお客様のマッサージが終わって片付けをしていた時に、突然脇腹が何かで刺されたかのように大きな痛みがしました。肋間神経痛かなと思ったのですが、立ってられないぐらい強い痛みには私は座り込んでしまいました。

そして痛みはまるで私の脇腹に突き刺さるように次第に痛みを増してきたのです。

私は昨日の「紫ピラミッド」のリーダーの言葉を思い出しました。

その時は、「紫ピラミッド」のリーダーが直接私に仕掛ける事はなかったのですが、監査の創造主の目が離れた時を狙って私に攻撃を仕掛けてきたようです。

私は職場においてあるパソコンでアセンションブックがスマホで読めるように作業を続けていましたので、アセンションブックが公開できないように攻撃してきたのでしょう。

彼らは人を傷つける事など何とも思っていません。

私はしばらくの間椅子に座り込んだまま痛みをこらえ、大天使やスターピープル達に私の防御を行うように祈りました。

そして痛みが和らいだ頃、恵理さんに何が起こったのか電話で尋ねました。

すると恵理さんは驚いたような声で言いました。

「とても凶悪な闇のエネルギーが TAKES HI さんに関わってきています。

これは「紫ピラミッド」のサイキックアタックに間違いないようです。

私も先ほどから気分が悪くて横になっているところでした。」

私はすぐにスターピープル達に何が起きたのか調べてもらいました。

するとエレナさんがすぐに答えてくれました。

「TAKESHI さん、実は「紫ピラミッド」のとても凶悪なダークピープルが、TAKESHI さんに襲いかかったようです。

すぐにハンターから知らせが来ましたのでスターピープルや大天使達で応戦して防御していたのです。

彼らは「紫ピラミッド」でも闇の暗殺者と呼ばれるダークピープルです。

彼らはとても動きが早く攻撃力が高いダークピープルで「紫ピラミッド」の切り札のような存在です。

ハンターを中心としていつも TAKESHI さんの身の回りにいるスターピープル達がその攻撃を必死で防いだようですが、やはり完全に防ぐ事は難しかったようです。」

やはりあの時、今まで急激な痛みが起きたのは「紫ピラミッド」が本気で私を殺そうとしたためだったようです。

「その暗殺者と呼ばれるダークピープル達はスターピープルに取り押さえられましたが、この者達はとても危険な存在です。

今まで表に出てくる事はなかったのですが「紫ピラミッド」の活動の邪魔をする者達や地球人を自分達のもとから解放しようとする者達に対して、暗殺者は非常な手段で多くの人達の命を奪っていたようです。

昨日、「紫ピラミッド」のリーダーが出てきた事から、TAKESHI さんの身の回りのスターピープル達は警備を強めておりましたので、TAKESHI さんは一命を失う事はありませんでしたが、しかしながら TAKESHI さんの代わりにハンター達もだいぶ傷ついたようです。」

私はハンターやスターピープル達のおかげで命拾いをしたようです。

もし彼らがこの暗殺者の事に気づかなければ、おそらく私は心臓発作を起こしたように見せかけられて、一瞬のうちに殺されていたかもしれません。

監査の創造主はこの事を重く見て暗殺者を取り調べました。

そしてそれが「紫ピラミッド」のリーダー等によって派遣されたという事がわかりました。

PART3 「紫ピラミッド」の解体

監査の創造主達はすぐに緊急会議を開き、「紫ピラミッド」のリーダー達を、彼らがもう二度と私達や地球に関われないように長期間にわたって拘束する事になりました。私はこのように言いました。

「どうか「紫ピラミッド」によって長い間、闇の世界に閉じ込められたスターピープル達の苦しみや悲しみを「紫ピラミッド」のリーダー達にも味あわせてあげてください。自分が一体この地球で何をしてきたのか、地球の人々やスターピープルに対してどんな仕打ちをしたのか、彼ら自身が身をもって知らなければいけないのです。」

監査の創造主は私の言葉に頷きました。

「もちろんです。」

「紫ピラミッド」のリーダーだけでなく中心的なメンバーを私達は捕えそして二度とこの地球に関わる事ができないように特別な場所へ拘束する事になりました。

そして「紫ピラミッド」は私達が計画していたよりもさらに細かく解体して「紫ピラミッド」としてもう活動ができないほどにしたいと思っております。」

そしてもう1人、「紫ピラミッド」のリーダーのパートナーである闇の女神と言われている存在も見つかりました。

これで「紫ピラミッド」を実質的に作り上げ、そして支配していた「紫ピラミッド」のキングとクイーンと呼ばれている2人が捕まりましたので「紫ピラミッド」は実質的な力を失う事になりました。

そして「紫ピラミッド」や彼らによって力を与えられ、地球の物理世界を牛耳っている政治家や経済家、あるいは宗教家達に力を与えていた闇の創造主も全ていなくなりました。

もちろん地球の物理世界には、まだ「紫ピラミッド」のダークピープル達がたくさん残っています。

しかしながら彼らからは闇の創造主の力を全て抜き取り、ただのダークピープルとして活動する事しかできなくなりましたので、今までのようにスターピープルや人間のスピリットを無理やり捕えたり、地球規模で地球人を支配したりする事もできなくなるでしょう。

そして「紫ピラミッド」のダークピープルと一体化して自分達の欲望を満たしていた人達も、やがて光40%の世界からさらに光の少ない光30%台の地球へと移される事になりました。

これで光40%台に残る地球の人達を今までのように支配したりスピリットを奪ったりする事はできなくなりました。

「紫ピラミッド」の支配がなくなる事によって、光40%台に残された人達もやがて精神的に成長してまた次のアセンションの機会にはきっとアセンションする事ができるようになるでしょう。

もし「紫ピラミッド」を残したままであれば地球人の進化を妨げるいくつもの罣が、光40%台の地球に残されたままになります。そして私達やスターピープルがこの光40%台の世界から撤退した後は、今まで以上に我が物顔で地球の人達を支配しそして地球をさらなる闇の世界へと陥れる事でしょう。

私達が光40%台と完全に分離される前にこの「紫ピラミッド」を解体して、「紫ピラミッド」の中心的なメンバー達が地球に関わる事が出来ないように拘束するか、もしくは光40%台の世界よりもさらに闇が深い光30%台の世界へと移し変える事によって地球の光40%台の世界は適切な光と闇のバランスを保てる事ができるようになったのです。

そしてその後は「闇の創造主を統治する創造主」を中心とした光40%台の地球を統治する創造主によってこの地球が運営されていく事になるでしょう。

しばらくは光40%台の現実世界では、次に誰がこの光40%の世界を統治するか、様々な権力争いが行われるかもしれません。しかし、今までのようにどこか一つのグループが絶対的な権力を得るという事はもう光40%の世界であってもできないようです。

私は監査の創造主に尋ねました。

「今回、私は暗殺者によって命を奪われそうになりましたが、今まで何度でも私を殺す機会があったのに、そうしなかったのはどうしてでしょうか。」

監査の創造主は答えてくれました。

「もちろん「紫ピラミッド」は常に TAKESHI さんと恵理さんの命を狙っていましたが、TAKESHI さん達は常に光の創造主と共にいて、光の創造主が見守っていましたので、「紫ピラミッド」も手出しができませんでした。」

もし、その事を実行していたなら「紫ピラミッド」のリーダー達は捕えられ「紫ピラミッド」はその時点で解体される事になる事ぐらいは彼らも分かっていた。

しかし、もうすでに「紫ピラミッド」は解体される事が決まりましたので、TAKESHI さんを最後に道連れにしようと思ったのでしよう。」

私は、本当にハンター達を仲間にしていたおかげで殺されずに済んだようです。

私達が監査の創造主と話をしていると今まで一度も見事もないマスターのような存在が現れました。

私は最初、新しいダークピープルかなと思い牽制していたのですが、そうではなさそうです。

私達に挨拶をするとこのように言いました。

「私は光40%台の前半の地球人の集合意識から生まれたマスターです。」

光40%台の人達は現実世界では気付いていませんが、その魂やスピリットでは「紫ピラミッド」の過酷な支配や残虐な行為にもう飽き飽きとしているのです。

地球人の潜在意識は自由と解放を求めています。

そして感情に惑わされない論理を求めているのです。

私はまさにそのような存在です。

光40%台の前半を私達がこれから管理する事になりました。」

このマスターに関してはまだ多くの事を語る時ではないようですので、これ以上の事は皆さんにお伝えする事は避けたいと思います。

しかしながら光40%台前半の世界においても「紫ピラミッド」はその力を失い新しい論理のマスターがその支配を行うようになるようです。

それは地球の人々達の新たな意思という事です。

PART4 海の魔女

地球の光40%台の世界では、今までこの世界を統治し様々な人々やスターピープルを支配してきた「紫ピラミッド」は解体される事になりました。

そして「紫ピラミッド」のリーダー達も捕らえられ、彼らがこの世界で何を行ってきたのか取り調べを受けています。

そして彼らのスピリットはもう地球に戻る事ができないと考えられています。

しかしながら現実世界では「紫ピラミッド」のリーダー達が捕らえられ、「紫ピラミッド」が解体された事に対して大きな怒りを持つダークピープル達もまだたくさん残っています。

彼らは「紫ピラミッド」があったからこそ自由に自分達のやりたい事をやり、そして人々を利用して自分達の利益や欲望を満たしていたからです。

彼らは今まで自分達を守ってきてくれた「紫ピラミッド」が無くなった事に対して大きな怒りを私達にぶつけてきました。

まずやってきたのはアトランティス時代のマーピープル達の墮落した存在であるダーク・マーピープルです。

彼らはまるで半魚人のような姿をして憎しみや怒りを持って私達にそのエネルギーをぶつけてきます。

私達はすぐにハンターやスターピープル達にお願いして彼らを捉えてもらう事にしました。

彼らは「紫ピラミッド」の海の部隊とも呼ぶべき存在です。

そしてこのダーク・マーピープルに続いて闇の乙姫族も現れてきました。

アトランティスが海の中にあった頃、アトランティスの人々はとても優雅でそして優しく愛に満ち溢れた存在でした。

その頃のアトランティスの種族の事を、私達はマーメイド族や乙姫族と呼んでいます。

しかしながら彼らの遺伝子が闇の創造主によって操作される事で彼らの性格は大きく変わってしまいました。

そして、遺伝子操作を受けない者達も、マインドコントロールを行われてマーピープルや乙姫族はとても深い闇に飲み込まれ、とても攻撃的な種族となってしまったのです。

彼らが地上に上がってアトランティス帝国を作ると、彼らは自分達の支配をもっと広げ

ようとしてレムリア文明やムー大陸文明を侵略していったのです。

その時中心的な立場で活動していた者達はアトランティスやレムリアが海の底に沈んだと共にそのほとんどの者が命を失ってしまいました。あの大災害を逃れた者達も一部残っていました。

それが独自に進化していったこのような半魚人の姿を持つダーク・マーピープルや闇の乙姫族となってしまったのです。

私達は他にも「紫ピラミッド」のダークピープル達が残っていないか探しました。

通常のダークピープルや魔導師達は、まだ光40%台の世界に残り、人間と一体化して光40%台の世界でその後も暮らす事となりますが、ダーク・マーピープル達のような特殊なもの達は、地球の光が強くなると、自分達が今まで活動していた世界が光に満ちて活動できなくなるので、私達にその怒りをぶつけてくるのです。

私達は、今まであまり関わってこなかった海のダークピープル達を調べると、「紫ピラミッド」が海に作っていた大変な仕組みを見つけました。

それは、海に関わる人たちのスピリットを吸い込むような大きな渦巻でした。

その渦巻きは深い「闇の海」へと続き、人々のスピリットをそこに閉じ込めています。

私達はハンターと海の中でも自由に活躍できるスターピープルを伴って「闇の海」へと入っていきました。

するとハンター達が何かを探し出したようです。

近寄ってみると、それは女性の姿をした存在です。

スターピープル達がすぐに調べて報告してくれました。

「TAKESHI さん、この女性は海の精霊のようです。

とても長い間、誰かに意識をコントロールされて、大きな渦巻を作り、人々のスピリットを誘い込んでいたようです。」

確かにこの渦巻きを見ると、海の事故で亡くなった人達だけでなく、船に乗って漁業を行っている人達、船で荷物を運んでいる人達、海に関わる観光の仕事をしている人達、海でよく遊んでいる人達のスピリットまでも捕えられているようでした。

私達はこの海の精霊のマインドコントロールを解き放ちました。

すると意識を失っていた精霊に意識が戻ってきたようです。

精霊は、一体何が起きていたのか私達に尋ねました。

「あなたは、誰かに自分の意識をコントロールされて、人々のスピリットを捕えるための闇の渦巻きを作り出していたのです。

その渦巻きによって多くの人々のスピリットが捕えられ、人々の自由を奪っていました。」

精霊は自分が行った事に啞然としています。大天使達も降りてきてこの海の精霊を癒しています。

問題は誰が、この精霊にマインドコントロールをかけていたかです。

私達は、精霊を通じてその存在を探し出そうとしましたが、なかなかその姿を現しません。

しかし、海の精霊が見つかり正気に帰された事で、その事を恨むエネルギーが私達に頻繁に流れ込んでくるようになりました。

私達はそのためさらに体調が悪くなり、恵理さんも喘息の発作が頻発するようになりました。

私達は恵理さんに関わってくるエネルギーを調べると、タコの足の上に人の体がかかっているような不気味な存在を見つけました。

まるでディズニー映画の「リトルマーメイド」に出てくる海の魔女にそっくりです。

もしかしたら、私達がイメージしやすいようにそのような姿で見せてくれたのかもしれない。

私達は海の魔女を捕えると、海の魔女はとても悔しそうに言いました。

「私達は、この地球の海を支配していたのに、お前たちによって、私達の仲間も捕えられてしまった、この仕返しはいつかしてやるから覚えている。」

私達は、闇の存在にとっては、何度殺しても殺したりないほど憎らしい存在になってしまったようです。

しかし、この海の魔女を捕える事によって私達は海に関わる人達のスピリットを解放し、穏やかな海を取り戻すことができたようです。

PART5 隠されていた創造主

私達が 光40%台の世界に残っている間に、少しでも多くのダークピープル達や「紫ピラ

ミッド」のメンバー達を処理しなければなりません。

そして私達は様々な場所を探しました。

その中で私が一番気になっているのは、やはり黄泉の世界や浮遊霊の世界です。

私達は多くのスターピープルやハンター達と共にその世界に入ってきました。

そして黄泉の国の奥深くへと私達は進んでいったのです。

そうすると闇の中からとても鋭い眼光が見えてきました。

私達はいつしか黄泉の世界から次元の扉を抜けて他の世界へと入っていたようです。

私達がさらに探索を進めると、そこには今まで見た事もない創造主達が数名存在していました。

私達はあわてて第26評議会と第30評議会の創造主を呼び出しました。

この時点でまだ闇の創造主が残っているとすれば、おそらくあの第30評議会の闇の創造主によって作られた創造主である可能性もあります。

そうすれば、その力は私達の通常の創造主では抑えきれないくらい強力な力を持っていると思われる。

私達はすぐに第30評議会の創造主にも手助けをしてもらえるようお願いしました。

第30評議会の創造主は、私達の状況をずっと見守っていたのでしよう。

すぐに、私達のもとに現れ、この隠れていた創造主達を全て捕まえてくれました。

しかも驚いた事にここに隠されていた創造主は15人もの数になります。

これだけ多くの数の創造主達がこういった場所に隠されていたという事自体が不思議です。

私達は一瞬のうちに彼らを捕まえる事ができましたので、彼らから大きな反撃を受ける事はありませんでした。

しかしながらもし私達よりも先に、彼らが私達の事を見つけていたならば、私達は大変な目に遭っていたかもしれません。

第 30 評議会の創造主が彼らの事を調べると大変な事がわかりました。

「TAKESHI さん、そして皆さん、本当にあの創造主達を見つけてくださってありがとうございます。

彼らの事を調べると彼らはあの第 30 評議会の闇の創造主によって生み出された創造主である事がわかりました。

そして彼らはこの場所に隠れてアセンションの動きを見ていたようです。」

私は第 30 評議会の創造主に尋ねました。

「彼らはなぜここに隠れていたのですか。彼らの目的は一体何だったのでしょうか。」

第 30 評議会の創造主は、しばらく考えた後に話し始めました。

「彼らの目的は地球と皆さんの宇宙がアセンションする直前にすべてを崩壊させる事でした。

第 30 評議会の闇の創造主が、もし自分が光に帰されたり、創造主の権利を剥奪されたならば、皆さんの宇宙を仕返しのためにすべて崩壊させる事をこの創造主達に命じていたようです。

私も第 30 評議会の闇の創造主が、このような創造主を作っていたという事に全く気付かなくて大変申し訳ありませんでした。

もし彼らが第 30 評議会の闇の創造主の命令を実行するならば、皆さんの宇宙はその時点でなくなってしまうと思います。

自分がない世界など彼は何の魅力も感じていないのです。

そのために、皆さんの宇宙を壊滅させようと考えていたようです。

もし発見が遅れたていたら、アセンションする時に一瞬のうちに皆さんの宇宙はなくなっていた事でしょう。」

私達は第 30 評議会の創造主の言葉に事態の重大さを思い知らされました。

そしてこのような創造主を作り出して、私達の宇宙を瞬時に光に返そうとしていた第30評議会の闇の創造主の狂気ともいえる考えに驚いてしまったのです。

続けて第 30 評議会の創造主が言いました。

「TAKESHI さん、そしてスターピープルの皆さん、光の創造主の皆さん、今まで私達は第 30 評議会の闇の創造主が行った事に対してほとんど気づく事はありませんでした。そして私達の宇宙は彼によってとても混乱させられました。

ある意味、皆さんの宇宙は彼らによって支配されてきたのです。

しかしながらその時代もこれで終わります。

これからは皆さんの意思でこの地球と宇宙をしっかりと見守り運営してください。

おそらく第 30 評議会の闇の創造主の仕掛けもこれで全てかと思われれます。

しかしながら油断する事なく前へ前へと進んでいきましょう。」

その様に言って、第 30 評議会の創造主は、見つかった闇の創造主と共に光の中に消えていきました。

私達はこの 3 ヶ月の間、「多彩の機能を持つ創造主」や「宇宙を侵略する創造主」、そして第 30 評議会の闇の創造主達を中心とする高次元の闇の創造主から、地球と地球人を解放するためにスターピープル達と共に戦ってきました。

そして物理世界においては光 40% 台を長い間支配し、地球の人々のみならずスターピープル達を抑圧してきた「紫ピラミッド」から人々を解放する事に明け暮れていました。そして 2019 年 4 月にようやくその決着がつかしました。

私達は闇に落ちた創造主達から創造主としての能力を取り去り、私達の宇宙から強力な闇の創造主を排斥する事ができました。

そして地球人を支配し続けてきた「紫ピラミッド」も解体し、地球人を解放する事ができました。

しかしながら物理世界では地球の人達は何も気づいてはいませんし、何の変化もありません。

地球のスピリチュアルな世界で一体何が起こったのか、自分達がどのような環境に置かれていたのか、そしてこれからどのような世界に自分達が歩いていくのか、という事も全く理解していません。

しかし、少しずつ「紫ピラミッド」の呪縛を解かれた地球人達が、自分が行くべき道に目覚め、光の世界に向かって歩み始める事だけは確かなようです。

私もそして恵理もそして私達家族もこの 3 年間戦い続けてきました。

これが最後なのか、まだこれから何が起きるのか分かりませんが、一つの大きな時代の転換が行われたという事だけは確かなようです。

ようやく闇夜が明け、明るい夜明けが地球にもたらされそうです。

私達はこれから光50%の世界に行くために今まで受けた様々な傷を修復し、そしてダークピープル達やダークドラゴン達を探すために必要な遺伝子を取り外して光の世界に移っていきたいと思います。

第11章 高次元の監査の創造主からのメッセージ

PART1 高次元の監査の創造主からのメッセージ

いつも私達と共に働いていた「監査の創造主」が私のもとにやってきました。

そして私達にこのように言いました。

「私達の仕事が予定よりも長くかかっている事に対して皆様方に本当に申し訳なく思っております。

私達の予定では2月中にはほとんどの仕事が終わり3月中には簡単な後片付けだけで終わる予定でしたが、新たに調べなければならぬ事柄などが起こりまして予定がだいぶずれてしまいました。

この事は私達の本意ではないのですが、「紫ピラミッド」や「多彩な機能を持つ創造主」もしくは第30評議会の闇の創造主行ってきた事が、私達の想定よりもさらに多岐にわたっております。

その事をすべて処理しなければ、皆さんのアセンションに対して大きな影響が出てくると考えたからです。

そのためにあなたや恵理さんをとおして、あなた方の宇宙の調査と浄化を徹底して行ってきました。

しかしながら皆さんに多大なご迷惑をかける事はもうすでに無くなっております。

今日は「高次元の監査の創造主」からあなたに対してメッセージを送りたいとの事でご

ざいましたので、あなたに話を行わせていただきます。

私はいくつもの宇宙を統括する立場にある「監査の創造主」です。

「監査の創造主」としてこの宇宙に入り、そしてあなたと共に働いていた「監査の創造主」も私の一部です。

私達は創造主や大天使スターピープル、ダークピープル達から分からないように働いてきました。

それは闇の創造主やダークピープル達に、私達が関わっている事を知られると、彼らの悪事を隠されてしまうからです。

この宇宙を支配した自分達の思い通りにしようとしている創造主や存在達、そのような者達の行いを明らかにし是正していくのが私達の目的です。

それは時として今回のようにとても高い次元の創造主を巻き込んで行われている計画や一つの宇宙の存亡にかかわる場合もあります。

その事を行っている創造主達は、本来自分達が与えられた仕事や任務に対して、最初は忠実にその仕事や任務を果たしていくのですが、自分達の欲望や自己中心的な考え方によって自分達の任務を逸脱し、自分達の理性や理念を越えて活動し始める事が良くあるのです。

本来「宇宙を侵略する創造主」や「多彩な機能を持つ創造主」にしても彼らに与えられた役目や任務というものは決して不当なものではありませんでした。

「宇宙を侵略する創造主」にしても侵略行為を起こす事によって多くの創造主やスターピープル達の学びとなり、彼らの成長を促進する事ができるからです。

あなた方の宇宙のスターピープル達や創造主に対しても同じような目的を持って彼らは接する事になっていました。

また、あなた自身も多くの創造主の行いやダークピープル達の行いを乗り越えていく事で、様々な事を学びまた自分の欠点や自分自身の至らないところなども理解し、自分自身を成長させてきました。

しかし皆さんの宇宙の創造主においては「多彩な機能を持つ創造主」のコントロールから上手く脱却する事ができずに、全ての創造主が作り変えられる事になりました。

この事は、私としては非常に残念な事でした。

「多彩な機能を持つ創造主」の逸脱した行為は、皆さんの宇宙の創造主を育てるというよりも皆さんの宇宙の創造主を自分よりも劣った創造主だと、彼は考え侮蔑していたために、皆さんの宇宙の創造主は、「多彩な機能を持つ創造主」の妨害をうまく処理する事ができずに、大きな混乱を起こしてしまいました。

その結果、アセンションもうまくいかず、多くの創造主が光に帰される事になってしまったのです。

こういう事はめったに起こる事ではありませんが、時として起こり得る事でもあります。皆さんの宇宙が今までの小さな宇宙から、創造主評議会に迎え入れられ一人前の宇宙として認められる事になりましたので、それに

ふさわしい創造主やスターピープル達を配置しなければならなくなったのです。

皆さんの宇宙の最高次元の創造主である第26評議会の創造主は非常に誠実で真面目な創造主でもあります。

しかしながらまだまだ若い創造主なので、このような状況に対して十分な対応を取る事ができませんでした。

それはあなたも感じているように彼自身も「宇宙を侵略する創造主」や「多彩な機能を持つ創造主」からコントロールを受けてしまったからです。

しかしながらその事は仕方がない事です。あなた方の宇宙の最高次元の創造主といっても、創造主評議会の中では最も若い創造主であり、能力もまだ十分に育っていない創造主なのです。

「宇宙を侵略する創造主」に比べるとその実力や能力は比較できないほど劣っています。

しかし、あなた方がいくつもの宇宙の創造主の代表が集まる創造主評議会に入る事になったために「多彩な機能を持つ創造主」や「宇宙を侵略する創造主」があなた方の成長や実力を試すために、あなた方の宇宙に関わったと言っても良いかもしれません。

実はその事を、私達は最初から認めておりました。

あなた方が創造主評議会の創造主達の仲間入りをするにあたって、どの程度の実力があるのか、もし実力不足だとしたら、皆さんの宇宙の創造主達を育てるためには、どうしたらいいのかという事を私達も見極めていかなければならなかったのです。

「多彩な機能を持つ創造主」や「宇宙を侵略する創造主」達が、私達が決めた範囲の中で活動したのであれば、おそらく第26評議会の創造主はその問題をうまく乗り越え、創造主達を育て上げる事ができたかもしれません。

しかし「宇宙を侵略する創造主」と「多彩な機能を持つ創造主」が、私達が想定していたよりもはるかに困難な問題を皆さんの宇宙で引き起こしてしまいました。

闇の力を過度に持った創造主達は地球人の進化を妨害し、皆さんの宇宙の創造主やスターピープルを混乱させてしまいました。

そして、その問題を解決するために計画されたアセンションも、彼らによって何度も何度も邪魔されてしまったのです。

私達が想定した以上に、彼らは皆さんの宇宙の創造主達をコントロールして皆さんの成長やアセンションを妨害してきましたので、皆さん達だけではその問題を乗り越える事が出来なくなってしまったのです。

私達もこの様子を見て困りました。

「宇宙を侵略する創造主」や「多彩な機能を持つ創造主」は、皆さんの宇宙だけでなく他の宇宙においても同じような事を繰り返していたのです。

そのために今回、監査の創造主を地球に派遣して、皆さんの宇宙を彼らの手から守り、立ち直る事をサポートする事にしました。

私達は、TAKESHIさんや恵理さんを通して、彼らが皆さんの地球や宇宙で行ってきた事を徹底的に調べました。

そして、創造主評議会に属する宇宙の創造主達にも手伝ってもらい、皆さんの宇宙を正常化する事にしましたのです。

皆さんのご協力のおかげで、彼らが行ってきた事が大方明らかになりました。

そして「宇宙を侵略する創造主」と「多彩な機能を持つ創造主」は、創造主としての能力を全て奪われ、創造主として仕事ができないようになりました。

しかし、彼らが逸脱した行為を行った事の責任は、すべて第 30 評議会の闇の創造主である「すべての闇の源となる創造主」にある事も分かりました。

第 30 評議会の闇の創造主は、自分自身が宇宙を創造し統治したいという欲望にかられ、多くの「闇の働きをする創造主」達に過度な力を与え、自分の思想を吹き込んでいきました。

その結果、多くの「闇の働きをする創造主」が、闇の力に取り込まれ自己中心的な「闇の創造主」になってしまったのです。

私達は、その仕組みもすべて解き明かす事ができました。

そして、第 30 評議会の闇の創造主である「すべての闇の源となる創造主」から創造主としての権限を取り去り、全ての宇宙に満ちていた彼の闇の力を取り去る事にしましたのです。

そうする事によって「闇の働きをする創造主」達も、自分達の役目を思い出し、創造主のルールに基づいてしっかりとした仕事をする事ができるようになります。

彼らは、光の創造主達と協力しながら適切な宇宙の運営を行っていく事になります。

そして、皆さんの地球と宇宙のアセンションもだいぶ遅れてしまいましたので、これから遅れを取り戻しながら進めていかなければなりません。

皆さんがアセンションする宇宙は、光60%以上の宇宙ですが、地球人の多くが、未だ光50%以下の世界に残っています。

これも闇の創造主達や「紫ピラミッド」が、皆さんの大切なスピリットなどを奪ったりして地球人の進化を妨害した結果でもあります。

その事も創造主やスターピープルはよく理解しながら、皆さんの意識進化を助け、少しでも早く光60%以上の世界へと地球人が入っていけるようにしたいと思います。

これからは、愛によって皆さんを導く事が、第26評議会の創造主や「愛で統一された宇宙」の創造主達の役目となります。

そして皆さんも闇によってではなく愛によって成長する事ができるようになります。

さまざまな愛を体験し、そしてその愛に学ぶ事によって、皆さんは成長していく事ができるのです。

それが地球と皆さんの宇宙のアセンションの始まりとなります。

皆さんはとても穏やかでそして喜びに満ちた世界にこれから入っていきます。

第26評議会の創造主は創造主評議会において、そのような事を学び、皆さんの宇宙の創造主を導いていく事でしょう。

あなた方に関しても、今までは大変な混乱の中にありました。

あなた方が「紫ピラミッド」と呼んでいるダークピープル達のグループも解体され、その

リーダーは今まで行ってきた事を全て明るみに出され、処罰を受けました。

そして皆さんに関わりのない世界へと彼らは追放されましたので、これからは皆さんの活動を妨害する事も少なくなるでしょう。

そして地球の人間における分離も今までよりもさらに早く進んでいますので、「紫ピラミッド」の影響を受けた人達があなたと関わる事も少なくなってきました。

5月もしくは6月にはそのような人達との完全分離が終わる予定になっています。

6月以降は、あなた方の宇宙や地球は最終的な調整に入ります。

それはそれぞれの光の度合いに応じた人達がそれぞれの世界に集められ、そしてその世界が成り立っていくように調整を行うという事です。

そして今年の末には完全なる分離が行われる予定になっています。

それ以降は、あなた方は光50%以上の世界で活躍します。

皆さんが、ゆっくりと光50%の世界から上の世界へと上がって行くのに合わせて、多くの人達が光50%の世界から上に上がっていく事になるでしょう。

光50%以上の世界はまだ完全な分離をおこなっていません。

今年の間は、様々な事を皆さんが経験しそれによって皆さんの愛を成長させていく必要があるからです。

光50%以上の人達を大まかな世界に集めて様々な体験をする中で、光51%の世界に上がっていく人達が選ばれていきます。

またそこから光52%の世界に上がっていく人、光53%の世界に上っていく人達選ばれていきます。

もちろん上の世界に行くにつれて上の世界に上がれる人達には大きな学びが起こります。

最初は51%の光しか持ってない人達も、皆さん達と共に学ぶ事で52%の光を持ち、そしてさらに光53%の世界へと入る事ができるようになります。

私達は全ての制限を地球人から取り除いた後に、今までよりもさらに多くの人達が光50%台の世界に入るように再調整を行いたいと思っています。

これから光47%と光48%、光49%の世界に人達にどんどん光を送り、その世界にいる人達の中で光50%以上の世界に上がっていく人達を、私達はこれから導いていきたいと思えます。

そうしないと光50%以上の世界に行く人達があまりにも少ない状況に現在陥っているからです。

もちろん地球人達の自主的な努力や目覚めも必要ですが、それ以上に闇の創造主達が、地球人が成長し進化できないようにいくつもの罫やシステムを作っていたためにこのような事が起きているのだと私達は考えています。

彼らが作った仕組みを全て取り除いた後、皆さんの魂やスピリットを自由な世界へと解放した時に、皆さんがどれだけ愛を高めて成長していただけるのかという事を見守っています。

もちろん大天使やスターピープル達も、現在光47%までの世界には入れるようになっていきます。

そして光47%から49%の世界には、とても多くの地球人達がいいます。

地球全体の2割から3割ぐらいの人達がこの世界にいるのです。

そしてその中の半分以上の人達が、光の世界に入っていけるようにしたいと私達は考えています。

そのためにこの半年間は大きな光の浄化をおこなわせて頂きます。

あなたがたが活躍する事も増えてくるでしょう。

あなた方のアチューメントやセミナーも計画され、そしてあなた方はもっと多くの人達と触れ合う事になります。

あなたの仕事を助けるためにたくさんのスターピープルや大天使達が新たにこの地球に派遣されて行きました。

また今まで物理世界に深く関わる事を禁じられていたスターピープル達や大天使達、マスター達も光の世界に入る人達に対しては現実世界レベルでももっと深く関わる事が認められるようになりました。

そのために今までよりもたくさんの人達が目覚め、あなたがたと関わり、あなた方の力とスターピープル達の力に手助けされて光の世界へと入っていく事になります。

そして6月以降50%以上の世界において、あなた方はさらに高い光の度合いへと人々を導くための活動にはいります。

5月になれば、皆さんは光の多い世界に移り変わっていきますので、一般の人達に対して、

スピリチュアル相談やアチューメントを行ってもいいような状況に変わっていきます。そうする事で皆さんの出来る範囲で多くの人達に関わり、そして皆さんを光の世界へと導くための活動していただきたいと思っています。

各評議会の創造主の一覧

○各評議会の創造主とスターピープル一覧

	創造主の役割 アセンションを妨害する理由
第 31 評議会	<p>創造主のビックバンのあと新たに創造主を産み出し、創造主のルールを定める。</p> <p>「全ての闇を生み出す創造主」から創造主としての権利を奪い、私達の宇宙の混乱を鎮めてくれた。</p>
第 30 評議会	<p>私達の宇宙を含めた最高次元の創造主</p> <p>第 30 評議会の創造主は光の創造主、闇の創造主、監査の創造主の 3 人。</p> <p>「全ての闇を生み出す創造主」が創造主のルールを破り闇の創造主達の力を強めたことから、光と闇の創造主のバランスが崩れ闇の創造主の力が強くなり混乱が起きた。</p>
第 27 ～ 29 評議会	<p>第 30 評議の創造主のサポートをおこなう創造主</p> <p>創造主のルールによって全てが完璧に創造されていると思い込んでいたために下の創造主の行いを見る事をしなかった。</p>
第 26 評議会	<p>創造主評議会に新しく加入を認められ、「愛で統一された宇宙」の創造主達の指導を受ける。</p> <p>「多彩な機能を持つ創造主」を一つの宇宙に閉じ込めたが、仲間達により助</p>

	<p>け出されてしまった。</p> <p>私達の宇宙のために力を尽くすが、「多彩な機能を持つ創造主」や「宇宙を侵略する創造主」達によって私達の宇宙は崩壊状態となる。</p>
第 25 評議会	<p>幾つもの宇宙の物理的世界、スピリチュルな世界を統治する</p>
	<p>「多彩な機能を持つ創造主」を生み出し、この創造主の遺伝子から多くの創造主を産み出したが、闇に落ちた「多彩な機能を持つ創造主」に太刀打ちが出来なかった。</p>
第 24 評議会	<p>幾つもの宇宙の物理的世界、スピリチュルな世界を統治する</p>
	<p>第 24 評議会の「全ての闇を生み出す創造主」は自ら宇宙を創造し支配したいと考え「宇宙に闇をもたらず創造主」を裏で操っていた。</p>
第 23 評議会	<p>幾つもの宇宙の物理的世界、スピリチュルな世界を統治する</p>
	<p>「宇宙に闇をもたらず創造主」の動向を調べ、彼の処理を手助けしてくれた。」闇の創造主が起こしたエネルギーの処理のために「6 大天使の光のピラミッド」のエネルギーを降ろす。</p>
第 21 ~ 22 評議会	<p>幾つもの宇宙の物理的世界、スピリチュルな世界を統治する</p>
	<p>「宇宙に闇をもたらず創造主」を私達の宇宙に入れてしまったことで、私達の宇宙は闇の創造主による支配を受けることになった。</p> <p>第 20 評議会の創造主の闇の封印を時、創造主大戦争の原因を作った。</p> <p>またこの闇の創造主によって私達の</p>

	物理的な宇宙も支配されることになった。
第 20 評議会	幾つもの宇宙の物理的世界。スピリチュアルな世界を統治する
	自分の中の闇の部分を取り離し光だけの創造主になろうとしたが、分離した闇が独自の闇の創造主に成長し創造主大戦争を引き起こした。 この創造主が自分が切り離した闇と統合することは今回のアセンションの一つの目的だった。
第 18 ～ 19 評議会	第20評議会から生み出された各系列の最高次元の創造主達。「愛の創造主」「守護の創造主」「光と闇の創造主」が長い時間の封印を解かれて復活 「全ての闇の創造主を統治する創造主」もこの評議会の創造主
	「始まりと終わりの創造主」が闇にまみれ、他の3人の創造主との間に創造主大戦争を引き起こし、3人の創造主とその系列の創造主を封印し、闇の創造主がいくつもの宇宙を統治するようになった。
第 17 評議会	物理的な宇宙を管理する最高責任者。5人の創造主がひとつの意思に基づいて動いている
	私達の宇宙を光に満ちた宇宙にするために、地球のアセンションを通して創造主達を再構成しようと考えていたが、「変化の宇宙」の創造主達の介入により予定が大きく狂ってしまい、地球のアセンションは混乱した。 それを収拾する為に物理世界にも介入してはたらいてくれている。

<p>第16評議会</p>	<p>創造主達の指導を行い、宇宙創造の管理を行う 私達の活動をサポートする「時と空間を司る創造主」もこの評議会の1人</p> <p>第17評議会によって第16評議会の中に、下位の評議会の創造主を成長させるために、あえて問題を引き起こす創造主達が作られた。彼等が「変化の宇宙」の創造主達により強化され、第17評議会も手におえない程に、凶悪化してしまい「すべての闇を作り出す創造主」を中心に私達の宇宙の支配をもくろみ、私達の活動に介入してきた。</p>
<p>第15評議会</p>	<p>物理次元を持つ宇宙に関わる最高次元の創造主。 アセンション計画の創始者私達を地球に降ろした創造主。</p> <p>異なる宇宙の創造主達にコントロールされて他の宇宙とのゲートを開く。 第15評議会から出ていった創造主「全ての闇の宇宙を統括する創造主」により闇に満ちた宇宙が数多く作られ、地球のアセンションを妨害する為に多くの罠が仕掛けられる。</p>
<p>第13～14評議会</p>	<p>私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて創造主達の指導を行う。</p> <p>5人いる第13評議会の創造主のうち3人が、「すべての創造主を指導する創造主」を生みだした創造主により意識をコントロールされ「すべての創造主を指導する創造主」を擁護し、地球のアセンションを妨害していた。</p>
<p>第12評議会</p>	<p>私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて創造主達の指導を行う。</p>

	<p>第12評議会のリーダー的存在である「すべての創造主を指導する創造主」が下位の評議会の創造主の働きを多様性のある宇宙を創るという事で擁護していた。そして自分もこの宇宙の実権を全て握るために、他の宇宙の創造主を巻き込みアセンションの妨害をおこなってきた。</p>
第11評議会	<p>私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて全ての宇宙の創造を行う責任者</p>
	<p>「感情に飲み込まれた創造主」が、「略奪の宇宙」「無機質の宇宙」「カオスの宇宙」などから高い能力を持つ創造主やダークピープルを地球に招き入れ、アセンションした世界の破壊をもくろむ。</p>
第10評議会	<p>私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて全ての宇宙の創造を行う責任者</p>
	<p>第10評議会の創造主達と対立する「混乱の宇宙を作った創造主」が地球にアセンションを妨害する為にさまざまな計画をめぐらし、自分達の宇宙の創造主を利用したり、他の宇宙からの創造主を招き入れる。</p>
<p>創造主の役割と創造主の墮落の原因</p>	
第9評議会	<p>私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて管理や指導を行う。</p>
	<p>「リセットの創造主」が、創造主の学びを行わせるために、下の創造主の正義感や判断力を忘却させ、混乱に陥れる。</p>
第8評	<p>全ての宇宙を見守り創造主達の指導</p>

<p>議会</p>	<p>を行う。 私や恵理さんと同じスピリットを持つ創造主が、宇宙の様々な世界の探査を行う。</p>
	<p>第9、第10評議会に、下の宇宙の出来事を報告する「全てを見渡す創造主」が「リセットの創造主」により正義感を失われ、支配欲を持ち「怒れる創造主」を作ったり、宇宙を支配のための企てを行う。</p>
<p>第7評議会</p>	<p>全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。 「全てを見守る創造主」がリーダー 上の評議会から闇を持った創造主として生み出された「怒れる創造主」が評議会に反乱を起こし全ての宇宙での闇の創造主の大元となる。</p>
<p>第6評議会</p>	<p>全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。 「全ての創造主の働きを持つ創造主」がリーダー 「変化を促進する創造主」が、創造主を成長させたいという理由で宇宙に闇のエネルギーを流すが、本当の理由は宇宙の支配。</p>
<p>第5評議会</p>	<p>第4評議会が作った全ての宇宙を管理。「陽の働きを持つ創造主」がリーダー 第4評議会の創造主達から騙されて闇に落ちた「暁の光の創造主」が下部の創造主の光を奪う。</p>
<p>第4評議会</p>	<p>1人1人の創造主が、独自に宇宙の原型を作り出し、スターピープルと下部の評議会に創造を委ねる。お互いの宇</p>

	<p>宙にはあまり関わらない。</p> <p>「光を生みだす創造主」と「力を生みだす創造主」が対立していたが共に闇の創造主となり、2人が手を組んで宇宙の支配をもくろむ。下部の評議会の創造主達を闇の創造主に仕立てあげていった。</p>
第3評議会	<p>「道を指し示す創造主」を中心に、第4評議会の創造主によって作られた宇宙の細かい部分を創造し運営する。他の創造主を信頼するあまり闇落ちた創造主を放置する。</p> <p>「宇宙の創造を管理する創造主」や「道を作り出す創造主」が闇の創造主となり、この宇宙を光の創造主から奪い取るために、闇の創造主達を地球の各地に配置しアセンションを妨害してきた。彼等は第4評議会の創造主に操作されていた。</p>
第2評議会	<p>「栄光の創造主」を中心に第3評議会によって作られた宇宙の創造と運営を手伝い、第1評議会の働きを管理し手助けを行う。様々な宇宙の中で大きな問題が起きた時はその解決にあたる。</p> <p>第3評議会の闇のエネルギーによって過去に創造主大戦争を引き起こした。今回も闇のエネルギーの影響で、第2評議会の中心的な創造主が闇に落ち、宇宙を混乱させ、アセンションを妨害し、私達にも大きなサイキック・アタックを行なった。</p>
第1評議会	<p>「源の創造主」をリーダーに「光彩の創造主」等が上の評議会から託された宇宙を具体的に運営する。また物理世</p>

	<p>界に生きる多くの存在達の成長を助け、宇宙連合へ迎え入れる。</p>
	<p>上位の評議会からの闇のエネルギーの影響で、第1評議会の創造主のリーダーである「創造主の独自性を育てる創造主」等、主だった創造主が闇の創造主となり大きな勢力を作り、光の創造主を圧倒していた。</p> <p>そのために地球を始め多くの宇宙に闇がはびこり、ダークピープルが宇宙を荒らしまわる事となった。</p>
物理的 宇宙	<p>宇宙連合によって生み出された宇宙、多くの銀河や星団に別れ独自に発展している。</p>
	<p>闇の創造主やダークピープルによって地球だけでなく多くの星々が闇が多い世界となり、人々の成長を阻害している。</p>

★物理世界を持つ宇宙

○第1レベル 天の川銀河の中の創造主

階層としては一番下の階層の創造主です。主に星々や星座の働きを保ち、星に存在する生命達を生みだします。

彼等は星座の創造主とも呼ばれています。

その上には、天の川銀河全体の管理と創造を行う創造主もいます。

○第2レベル 局部銀河の創造主

私達にとって観測可能な宇宙（ユニバース）の中でも、天の川銀河やアンドロメダ銀河を含む局部銀河が一つの宇宙の単位となっています。

この局部銀河を治める最高の創造主は、私達が「界王」呼んでいる創造主で彼のもとに多くの創造主が役割を分担して存在しています。

私は、局部銀河の運営にたずさわる創造主を「グレートゴッデス」と呼んでいます。

特にグレート・イエスやグレート・マリアは地球の事をととても大切にしてくれています。

○第3レベル 観測可能なユニバースを統治する創造主

物理的な世界を持つ宇宙（ユニバース）を直接統治する創造主達です。

主に第4レベルの創造主に対応する創造主達がいて、第4レベルの創造主の指示のもとに単一宇宙であるユニバースを運営しています。

○第4レベル 多次元宇宙を統治する創造主

観測可能な宇宙だけでなくパラレルワールドも含む多次元宇宙を統治する創造主達の世界です。

そのリーダーは、エンソフと呼ばれる創造主です。彼のもとに、星々を創造する創造主、人々の運命を司る創造主、宇宙の安定を保つ創造主、ドラゴンや精霊を生き育てる創造主、4大エレメントを駆使して宇宙を創造する源のエネルギーを作る創造主、叡智ある存在が適正に育っているか調べる創造主などが存在して、多次元宇宙の創造と運営を行っています。

★スピリチュアルな宇宙

○第5レベル 物理的な宇宙を創造し運営する創造主

このレベルの創造主からは、たくさんの階層と役目を持った創造主が存在します。

物理的な宇宙を創造し運営する役目を持ち、私達の物理世界にも関われる創造主達です。第1評議会の中心的な創造主達になります。リーダーは、「源の創造主」「光彩の創造主」で宇宙のスーパーコンピュータを管理する創造主なども含まれます。

○第6レベル 物理的な宇宙を管理しスピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第2評議会、第3評議会の創造主達で、上位の評議会の創造主の指示のもとにスピリチュアルなレベルでも宇宙を創造していきます。

彼等は、上位の評議会の決定を自分達の評議会で議論し、どのような方法で宇宙の創造と運営を実行するか決めて行動します。

○第7レベル スピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第4評議会の創造主で、物理的な宇宙の元となるスピリチュアルな宇宙を作ります。この宇宙の原型を基に、第3評議会と第2評議会の創造主やスターピープル達がスピリチュアルな宇宙の細かい創造を行います。

彼等は、マルチな能力を持つ創造主で1人1人が独立して、自由に宇宙の創造を行う権利が与えられています。

○第8レベル 創造された宇宙の管理を行う創造主

第5評議会以上の創造主達は、宇宙の創造は行いませんが、彼等よりも下の評議会の創造主が作った宇宙が適切に運営されているかどうかの検査を行っています。

非常に高い能力を持っている事はもちろんですが、どの次元にも自由に入る事ができ、多くの宇宙を見守っている創造主です。

○第9レベル いくつもの宇宙を管理する創造主

第9評議会以上の創造主達は、私達の宇宙以外にもいくつもの宇宙に関わり創造や管理を行うようになります。

宇宙連合の評議会について

宇宙連合は、私達の天の川銀河やアンドロメダ銀河だけでなく多くの星団や星雲が含まれる宇宙をいくつも束ねた大宇宙を見守るグループです。

私達は、宇宙の本当の姿を未だ知りませんが、私達にとって観測可能な宇宙をユニバースと呼ぶのなら、そのユニバースの中に存在している創造主やスターピープル達の連合と考えてもよいと思います。

しかしこのユニバースの中にも計り知れない銀河が存在しているのも事実です。

また、私が語る話はスピリチュアル・レベルの話ですので、実際の天文学の話とはかなり異なるという事だけをご理解ください。

先ず宇宙連合は、宇宙を創造し運営する創造主達とその仕事をサポートするスターピープル達の集まりです。

創造主やスターピープルの能力や資質、そしてその働きによって異なる階層の評議会に別れて活動しています。

その階層のリーダー的な創造主達とスターピープル達によって評議会の会議が行われ、自分達の行動が決定されます。

第1評議会は、宇宙連合では一番下の評議会として、物理的な宇宙の運営に当たります。

第1評議会は、創造主もスターピープルも最も数が多く、その役目も多岐にわたります。この評議会に属するスターピープル達は、物理的もしくは半物理的な体を持つスターピープル達ですので、地球を始め物理的な世界を持つ他の星々にも関わる事ができます。そして、地球人も含めて、まだ十分に成長していない人々に対して、意識進化のための様々な取り組みを行います。

宇宙連合の第1評議会は、物理世界を持つ多くの銀河や星団に関わり、その銀河や星団、もしくは星々の平和を守るための活動を行います。

第1評議会の中には、アシュタール連合のように独自のグループを作って活動している者達もいますが、彼等も第1評議会の指示のもとに動いています。

また第1評議会は、スターピープルの説明のところでご紹介したように、未発達な星々の種族を成長させスターピープルへと導く仕事も行っています。

この宇宙の中で一つでも多くの種族が愛と叡智に目覚めて宇宙の平和のために貢献できるようにする事が第1評議会の目的でもあります。

第2評議会と第3評議会は、スピリチュアルな宇宙と物理的な宇宙の創造に当たります。

もちろん物理的な宇宙に関しては、第1評議会が中心となって創造活動を行うようですが、第1評議会を指導し、より良い宇宙を創る事が彼等の仕事でもあります。

しかしながら、これからのレポートでもご紹介するように、第4評議会に属する創造主が闇に落ちてしまった事で、第3評議会、第2評議会の創造主達も大きな闇に巻き込まれる事になりました。

その結果、第3評議会のほとんどのスターピープル達が闇の世界に閉じ込められ、第3評議会の仕事が順調におこなわれていないという事態に陥っていました。

第4評議会は、スピリチュアル・レベルの宇宙の創造を行い、物理的な宇宙のひな型を作り出していきます。

この第4評議会の創造主は、自分が創造する宇宙の全てを任されているので、自分の考えだけで独自の宇宙を作り出す事ができます。

第5評議会から上の評議会は、物理的な宇宙の創造には関わりませんが、創造主達を指導したり、下の階級の創造主が作り出した宇宙を検査する役目を持つ創造主達の世界です。

第5評議会の創造主達は、宇宙創造に必要なエネルギーを、第4評議会の創造主達に供給します。

第4評議会の創造主が闇に落ち地球の支配を計画している事が分かると、他の評議会の創造主やスターピープル達では対応できな

いので、彼等が中心になって地球の物理世界を調べ、この創造主達を処理する役目を担ってくれました。